

世界の交流拠点都市金沢
重点戦略計画

[改定版]

金 沢 市

平成28年2月

はじめに

わが国は今、少子高齢化の進展による社会の活力低下や、東日本大震災を契機とした大規模災害リスクの高まり、それに起因する福島第一原子力発電所の事故を教訓とした持続可能なエネルギーの確保など、解決すべき課題が山積しています。金沢市は、これらの課題に的確に対応するとともに、北陸新幹線の金沢開業による社会的・経済的なプラスの効果を最大限に生かし、まちを活性化させていくことが求められています。

そうした背景を踏まえ、新たな都市像として『世界の「交流拠点都市金沢」をめざして』（平成 25 年 3 月）を策定しました。これまで本市の先人達は、まちの個性である歴史や伝統、学術、文化を大切に守り、磨き高めてきました。連綿と引き継がれてきたまちづくりの規範が、このまちに魅力と品格を与え、そのことによって「歴史都市」や「創造都市」として認められた本市は、国内外の多くの方々から評価されうる存在になりつつあります。

都市像で言う「交流拠点都市」とは、これまでのまちづくりの基本を受け継ぎながらも、北陸新幹線金沢開業を機に更なる高みをめざし、次のステップに移行するためのものであり、これまでに培われた金沢のストックを最大限に活用することにより、国内外から人・モノ・情報の集積を図り、その交流を通じて新たな価値を創造し、持続的な発展を続けるまちのことです。

もちろん、交流拠点都市として金沢が発展していくためには、行政はもとより、市民自らも「自立」が求められます。即ち、一人ひとりが社会の中での役割や他者との関わりをこれまで以上に意識していくことが重要であり、そうした市民との協働を進めることが、交流拠点都市の基盤となる「誇りあるまち」につながっていくものと考えています。

都市像を踏まえ、十年間を見据えて、講じるべき施策をとりまとめたものが「重点戦略計画」です。この計画は、「重点的に取り組む施策」と「主要施策」との二部構成としており、「重点的に取り組む施策」は、市が取り組むべき「主要施策」のうち、交流拠点都市金沢をめざす上で特に重点的に取り組むもので、歴史や伝統、学術、文化などの個性を大切にしながら、市民が常に誇りを持ち、新たな価値を創造し続ける都市としての機能強化を図ることを目的に、以下に掲げる 5 つの重点方針に基づき、横断的にとりまとめたものです。

- 1．技術力に裏打ちされた新たな産業の創出
- 2．まちの品格を高める学術文化の醸成
- 3．観光を軸とした交流の活発化
- 4．新幹線時代に対応した交通基盤の整備
- 5．あらゆる世代に対応した新たなコミュニティの形成

この5つの柱に従って、10の大項目に施策を体系化しています。

1つめの柱を具体化するため、「価値創造拠点の整備」を推進していきます。この拠点では、創造性あふれる優秀な人材が集まり交流することによって、本市が培ってきた独自の伝統文化から先端的な分野までの様々な叡智を融合させ、新たな価値を生み出し、まちを支える社会的、経済的な資産を培っていきます。また、歴史に育まれた文化・産業の蓄積を活用し、伝統工芸とその技術を活かしながら、職人気質に根ざした質の高い工芸を創造するため、「金沢クラフトの発信強化」を推進していきます。

2つめの柱を具体化するため、学都金沢としての高等教育研究機関の集積を活かし、国内外の有力な会議を誘致していくこととし、会議施設や情報インフラの整備を促進するなど、まちなかにおける国際コンベンションの開催に対応できる、「学術・コンベンション機能の強化」を推進していきます。また、城下町が醸成した伝統と文化に基づく暮らし・生業が独特の佇まいを生み出している本市の魅力を更に高めていくため、「文化資産の活用・発信」を積極的に行っていきます。

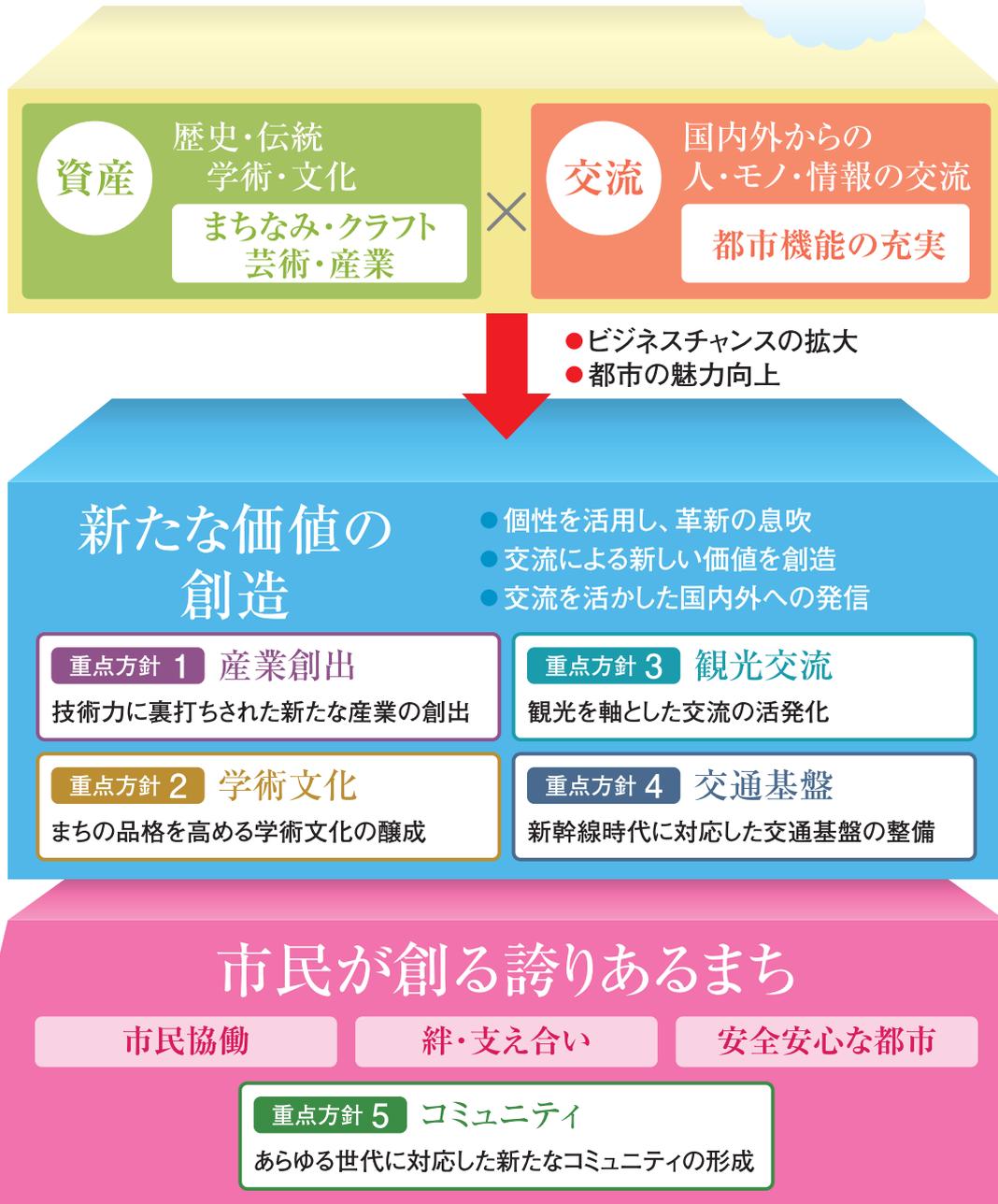
3つめの柱を具体化するため、伝統文化や町家など本市の観光資源を活かしたコンテンツを充実させ、国内外の多様な観光客ニーズに即応した、「グローバル観光への対応強化」を図ります。また、金沢マラソンの開催をはじめとしたスポーツの交流を通じて、まちを元気にするため、「スポーツの振興・拠点整備」を推進していきます。

4つめの柱を具体化するため、北陸新幹線の全線整備はもとより、コンテナ等の取扱量の拡大や外航クルーズ船の寄港など、金沢の海の玄関口となる金沢港の振興をめざし、「国際物流等の拠点整備」を推進していきます。また、公共交通の利便性向上を図るなど「都市内交通ネットワークの確立」に向けて円滑な都市内交通を確保します。

5つめの柱を具体化するため、自立と協働により、すべての世代が互いに尊重し、幸せで生き生きと暮らすことができるよう、「市民交流・人材育成機能の強化」を推進していきます。また、元気なシニア世代が有する豊富な経験や学生などの若い力を活かし、中山間地域を元気にするため、「交流による里山の活性化」を図っていきます。

いずれの施策も、市政を取りまく情勢の変化や新たな市民ニーズ等を踏まえ、必要に応じ進捗状況等を検証するとともに、追加や見直しを行うほか、予算編成方針に要求基準として特別枠を設けるなど、財政面でも特に配慮していきたいと考えています。

[都市像] 世界の「交流拠点都市金沢」の実現 ～市民が創る誇りあるまち～



[金沢の特性]

伝統工芸をはじめとする独自の産業

歴史や伝統、学術、文化などの個性とまちの品格

建築文化や現代美術などの交流の潜在力

首都圏等との移動時間の短縮などによるまちの立地

藩政期から培われた独特のコミュニティ

[5つの重点方針]

重点方針 1 産業創出

重点方針 2 学術文化

重点方針 3 観光交流

重点方針 4 交通基盤

重点方針 5 コミュニティ

重点戦略計画

主要施策

魅力づくり ～個性を伸ばす～

- 歴史文化資産の活用
- 伝統文化の継承・発展
- MICEの促進
- スポーツの振興 など
- 創造都市の推進
- 食文化の継承・発展
- 観光力の強化

まちづくり ～都市機能を高める～

- 品格のあるまちづくりの推進
- 調和のとれた都市構造の形成
- 情報インフラの整備・充実
- コンパクトな都市機能の集積
- 交通ネットワークの確立
- 広域交通基盤の整備・充実 など

ものづくり ～活力を生み出す～

- 価値創造拠点の整備
- ものづくり産業の活性化
- 企業立地の推進
- 林業の振興
- 金沢クラフトの振興
- 起業支援の強化
- 農業の振興
- 中山間地域の活用

ひとづくり ～未来を育む～

- 特色のある教育の推進
- 子育て環境の充実
- 地域の担い手づくり

環境づくり ～自然と共に生きる～

- エネルギーの自立
- 安全で快適な生活環境の保持
- 循環型社会の形成
- 自然環境の保全

くらしづくり ～安心して暮らせる～

- 防災体制の強化
- 障害のある人の自立支援
- 保健・医療・福祉拠点の連携・充実
- 消防・救急体制の強化
- 健康づくりの推進

絆づくり ～協働を進める～

- 市民協働の推進
- コミュニティ活動への支援
- 行政サービスの充実
- 学生の地域活動の促進
- 生涯現役のしくみづくり

主要施策の中から
特に重点的に取り組む施策

重点方針 1 産業創出

価値創造拠点の整備

金沢クラフトの発信強化

重点方針 2 学術文化

学術・コンベンション機能の強化

文化資産の活用・発信

重点方針 3 観光交流

グローバル観光への対応強化

スポーツの振興・拠点整備

重点方針 4 交通基盤

国際物流等の拠点整備

都市内交通ネットワークの確立

重点方針 5 コミュニティ

市民交流・人材育成機能の強化

交流による里山の活性化



1 重点的に取り組む施策	
価値創造拠点の整備	．．．．． 7
金沢クラフトの発信強化	．．．．． 9
学術・コンベンション機能の強化	．．．．． 11
文化資産の活用・発信	．．．．． 13
グローバル観光への対応強化	．．．．． 15
スポーツの振興・拠点整備	．．．．． 17
国際物流等の拠点整備	．．．．． 19
都市内交通ネットワークの確立	．．．．． 21
市民交流・人材育成機能の強化	．．．．． 23
交流による里山の活性化	．．．．． 25
2 主要政策	
魅力づくり	．．．．． 30
まちづくり	．．．．． 43
ものづくり	．．．．． 56
ひとづくり	．．．．． 67
環境づくり	．．．．． 74
くらしづくり	．．．．． 78
絆づくり	．．．．． 88

重点的に取り組む施策

主要施策の中から、交流拠点都市を推進する上で
特に重点的に取り組む施策を記載（再掲）

1. 技術力に裏打ちされた新たな産業の創出

価値創造拠点の整備

産学官連携のもと、先端的な分野を含めた多様な専門家や著名人を集め『知的交流』を促し、新たな価値を創造する拠点を整備することにより、創造産業を振興します。

価値創造拠点施設の整備

金沢独自の技芸や文化を礎とした革新的な営みにより、この地でしか生み出し得ない文化的な価値が付加されたサービスや製品、知的財産を創出していくため、国内外の知識や情報が集積し、人々が交流することで叡智の融合を促す価値創造拠点を、交流拠点にふさわしい交通結節点に、民間活力を導入しながら整備する。

価値創造拠点の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
価値創造拠点検討 済	一部具現化、恒久施設の検討・整備	



(価値創造サロンの創設)

起業家やクリエイター、デザイナー等、多様な分野の意欲ある人材が集い、まちづくりやものづくりに関する創造的な取り組みの課題解決に向けた情報交換を気軽に行える場を創設し、研究事業やワークショップなどを通して、新たな価値の創造を支援する。

(クリエイティブ・ベンチャーセンターの創設)

3Dプリンターなど最新のデジタル技術による実験的な創作の場としての機能を有しながら、ICTを活用した金沢ならではの先進的なビジネスモデルの構築、創造性に富んだ人材の発掘・育成などを通して、企業等の創造的で革新的な取り組みを支援するセンターを創設する。

(サポート機能の検討)

価値創造サロンやクリエイティブ・ベンチャーセンターの機能をサポートするため、多目的ホールや研修室、ショールーム、アート・学術に関するサテライト機能の設置を検討する。

多目的ホール・研修室

ワークショップ等を開催できる研修室や、新製品発表会など多様な情報を発信することができる多目的ホール。

ショールーム

「見る」、「買う」、「参加する」ことの新たな価値を提案し、先進的かつ創造的な生活スタイルを発信することができる展示施設。

アート・サテライト及び大学サテライト

金沢21世紀美術館や金沢美術工芸大学のサテライトギャラリーとしての機能や、単位取得が可能な授業が行える大学サテライト機能を持つ施設。

金沢クラフトの発信強化

首都圏においてクラフト発信拠点を開設するとともに、町家等の工房・ギャラリーへの活用を促すほか、研究や発信の拠点機能を強化するなど、金沢クラフトのさらなる振興に努めます。

金沢クラフト首都圏魅力発信拠点の開設

北陸新幹線の金沢開業を機に、本市の魅力を総合的に発信する拠点施設を、情報と人の集積地である首都圏に開設する。東京にいながら金沢を体験できる施設として、金沢クラフトを展示するだけでなく、文化的な背景も含め、「茶会」や「芸能」、「食」などを通して「金沢体験」ができる場となるような事業を展開する。

併せて、金沢クラフトの振興のため、日常生活を豊かにする生活工芸を「生活工芸/金沢」としてブランディングし、首都圏において展示会を開催するなど、本市工芸の魅力を発信する。

金沢クラフト首都圏魅力発信拠点「dining gallery 銀座の金沢」の開設
生活工芸ブランディング

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
開設 済	dining gallery 銀座の金沢 を活用した展示会の開催	
首都圏展示会の開催 済		

クラフトカンパニーの創設

「金沢クラフトビジネス創造機構」において専門性の高いセミナーの企画や生活工芸のブランディングなど、作家等への具体的な支援策に取り組んできたことを踏まえ、卯辰山工芸工房とも連携し、ビジネス化に向けたより実践的なセミナーを開催するなど、さらなる金沢クラフトのビジネス化の推進と販路拡大を図るとともに、事業者の参加による法人化をめざす。

金沢クラフトカンパニーの設置

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
法人化実施 済		

金沢クラフト：伝統工芸をはじめとする本市の工芸全般を総称している。

職人等の創作活動の場の整備

職人等の創作活動の場を拡充するため、町家等を活用し、作り手の活動拠点を開設する。また、市内に点在するギャラリーを有機的に繋ぎ、金沢クラフトストリートを設定するとともに、金沢クラフトのシンボリックな施設を設ける。



金沢クラフトストリートの設定・発信
金沢クラフトスタジオの整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
ストリートマップ作成・発信 済	発信の継続	
	金沢クラフトスタジオ整備	

卯辰山工芸工房の拡充と工芸文化研究所の設置



卯辰山工芸工房のハード・ソフト両面でのリニューアルを行い活性化を図るとともに、文化とビジネスを関連させ、金沢クラフトビジネス創造機構とも連携し、クリエイターの国際交流などの政策を推進するための研究所を開設する。

また、姉妹都市等で活躍する工芸作家を募集し、卯辰山工芸工房での創作活動を通して高度な技術交流を行うとともに、帰国後、金沢の工芸文化を発信してもらおう。

卯辰山工芸工房のリニューアル
工芸文化研究所の設置
姉妹都市等の工芸作家による金沢の魅力発信

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	卯辰山工芸工房リニューアル	
	工芸文化研究所設置	
姉妹都市等工芸作家 招聘試行 済	実施	

2. まちの品格を高める学術文化の醸成

学術・コンベンション機能の強化

会議施設や情報インフラの整備を促進するなど、都心におけるコンベンション機能を強化するほか、ユネスコ創造都市ネットワーク世界会議等を開催することにより、本市を世界に発信するとともに、金沢美術工芸大学の改築を進めるなど、「学都」としての機能を高めます。

文化ホール等における国際会議機能の充実

市内のホテル・旅館・既存ホール等を活用し、世界の交流拠点都市にふさわしい国際会議機能の充実を図る。特に、老朽化している金沢市文化ホールの国際会議機能を強化するとともに、まちなかにおけるコンベンション機能のあり方を検討する。



金沢市文化ホールの改修、国際会議機能の充実

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢市文化ホール改修		

MICEの積極的な推進

伝統芸能披露や金沢クラフトツーリズムを実施する金沢版MICEを推進するとともに、同時通訳設備のオペレーティングやシャトルバス運行等への支援を充実する。

MICEの推進

国際的MICE開催支援強化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
官民連携によるMICE誘致、開催費助成		
助成制度拡充の検討・実施	済	

創造都市交流事業の推進

国内外の創造都市との交流を推進するなど、創造都市・金沢を国内外に発信し、本市の文化・産業を一層発展させる。



(ユネスコ創造都市ネットワーク世界会議の開催)

創造都市のあり方や連携方策などを議論するユネスコ創造都市ネットワーク世界会議を開催する。

(「創造都市ネットワーク日本」との連携)

世界の創造都市間の連携・交流を促進することを目的に設立された「創造都市ネットワーク日本」と連携し、様々な交流事業に参画するとともに、世界会議の開催に併せてユネスコと国内ネットワークとのハブ的役割を担っていく。

(世界会議開催を契機とした創造都市交流の推進)

世界会議開催を契機として、東アジアの都市との交流、異なる分野の都市との連携という2つの方向性から、創造都市間の一層の交流を図る。

創造都市交流事業の推進

前期 (25～27 年度)	中期 (28～30 年度)	後期 (31～34 年度)
創造都市ネットワーク 世界会議開催 済		
国内ネットワーク 代表幹事市就任 済		
ネットワークを通じた交流・発信		

金沢美術工芸大学の移転整備

手狭で老朽化が進む金沢美術工芸大学の改築に向けて、文教地区にふさわしい施設整備をめざし、金沢大学工学部跡地への移転整備を推進する。

金沢大学工学部跡地の利活用検討

金沢美術工芸大学の移転整備

前期 (25～27 年度)	中期 (28～30 年度)	後期 (31～34 年度)
基本構想・設計・移転整備		

文化資産の活用・発信

まちの個性である歴史文化の継承発展を図るため、寺町台から本多町周辺に至る環境整備を進めるとともに、食文化の発信に努めるなど、まちの品格や魅力の向上に取り組みます。

本多町歴史文化ゾーンの整備

藩政時代から醸成されてきた歴史資産を活用していくため、本多町地区において、回遊性の更なる向上と質の高い散策空間の創出に向けた整備を進めるとともに、本多家上屋敷の門跡・土塀及び下屋敷へ続く道跡周辺、鈴木大拙館へと向かう「緑の小径」の連携強化や、本多歴史の森に関連する文化財の発掘・整備に取り組む。



本多町歴史文化ゾーン散策空間の整備
本多歴史の森関連文化財の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
散策空間整備計画 済	整備	
本多家上屋敷門跡等活用計画 済	整備	

桜橋詰・寺町台境界の整備

寺町台地区において、重伝建地区の選定を機に犀川河畔の散策路等を整備するとともに、無電柱化を推進するなど、回遊性と魅力の向上を図る。

寺町台地区の無電柱化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	期（蛤坂～六斗の広見） 無電柱化整備	期（犀川大橋～蛤坂） 無電柱化整備

金澤町家情報館の整備

市指定保存建造物となっている市所有の金澤町家を金澤町家情報館として整備し、金澤町家に関する総合的な相談・情報提供等の拠点施設として金澤町家の保全・活用を推進する。

金澤町家情報館の整備
金澤町家の修理・修景の支援等

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金澤町家情報館整備		
金澤町家の流通コンサルティング、修理・修景へ助成		

文化創生新戦略2020の推進

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、本市の文化芸術の交流・発信のための行動計画を策定し、伝統工芸の充実、現代アートの発信強化、文化芸術を担う人材の育成、文化芸術の世界発信のための施策を推進する。

文化創生新戦略2020の推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
施策の推進		

食文化の継承・振興

金沢食文化条例（略称）の制定を機に、藩政期から培われた金沢固有の食文化の持続的な発展をめざし、市民や事業者への普及・啓発を図るほか、料理や嗜み等を学び、次代の職人を育てるためのしくみを検討するなど、官民の連携により、豊かさと奥深さを実感できる食文化の継承・振興に取り組む。

金沢の食文化の継承・振興

野菜ソムリエ・シェフなど（料理人、パティシエ）の招聘とブランド力の向上

金沢の食文化発信イベントの開催

金沢の海の幸の魅力発信

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
推進委員会の設置 各団体の取り組み支援と情報発信 済	各団体の取り組み支援と情報発信	
野菜ソムリエ等招聘 済	連携してPRを推進	
金沢フェアの開催 済	検証し、継続開催	
PR活動の実施など		

卯辰山公園開園100年の再整備

卯辰山公園の立地特性や固有資源を再評価し、市民の交流空間を整備するなど、新たな価値を付加し、未来へ継承していくとともに、浅野川や重伝建地区など周辺のエリアや観光資源とのネットワーク化を図るほか、桜や紅葉の名所づくりに取り組む。



卯辰山公園の再整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
卯辰山公園開園100年魅力向上計画 済	再整備	

3 . 観光を軸とした交流の活発化

グローバル観光への対応強化

国の内外から多くの来街者が訪れる魅力あるまちをめざし、金沢の魅力的な建築文化の発信やナイトカルチャーの創出等により、滞在型観光を促進するとともに、駅西周辺地区において民間資本を活用した賑わい交流拠点の整備を促すなど、グローバルな観光ニーズに応えていきます。

金沢版DMOによる滞在型観光の推進と戦略的な海外誘客の促進

金沢市観光協会を金沢版DMOとしてワンストップサービスを行うとともに、多様な人材育成や魅力的な旅行商品の企画造成を通じて、滞在型観光を推進する。また、重点的に海外プロモーションを行うとともに、金沢ファン拡大のための事業展開を強化し、宿泊や交通、観光案内、買い物における受入環境を整備するなど、海外誘客に取り組む。

金沢版DMOによる滞在型観光の推進 戦略的な海外誘客の促進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢版DMOによる滞在型観光の推進		
海外プロモーションの重点実施・受入環境整備など		

ナイトカルチャーによる賑わい創出

文化施設でのナイトミュージアムを推進することで、夜間の賑わいを創出し、滞在型観光の誘客促進を図るとともに、文化財指定された建築物のライトアップやプロジェクションマッピング等の実施により、夜のさらなる魅力アップに努める。

ナイトミュージアムの推進 ナイト文化財の魅力発信 夜のにぎわいを創出

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
文化施設の夜間延長開放 済	検証のうえ実施	
文化財の夜間ライトアップ 済		
プロジェクションマッピング等 済		

金沢らしい品格のある夜間景観の創出

歴史・文化・芸能など、地域特性を踏まえた夜間における眺望点を設定するとともに、夜間景観基準を見直すなど、和の灯りで構成された歴史都市金沢にふさわしい品格と暖かみのある夜間景観の創出に努める。

金沢らしい夜間景観の創出 品格ある夜間景観の発信

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
夜間景観基準の見直し、歴史的景観保全区域内における照明施設整備		
眺望点の設定・発信		

金澤ふうライフの発信と金沢プレミアム旅行の企画

歴史資産などのまちの魅力や金沢でしか味わえない食など、金沢固有の“金澤ふうライフ”を富裕層、IT関連のクリエイターや建築家、デザイナーなどに発信し、定住や二地域居住につなげる。また、著名な作家や職人によるギャラリートークや工芸体験指導、学識者による文化施設案内など、これまでにない「特別感のある」「本物志向の」「上質な」旅を企画し、富裕層を中心に発信する。

金澤ふうライフの発信

金沢の工芸にふれる旅行商品の開発

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金澤ふうライフ 首都圏PR、体験事業 等		
金沢プレミアム旅行の商品化・発信		

建築文化の発信

歴史あるまちなみの中にあって、金沢21世紀美術館や鈴木大拙館、金沢駅もてなしドーム、金沢海みらい図書館などの現代建築が、世界から高い評価を得て新たなまちのシンボルともなっていることから、連綿と育まれてきた質の高い金沢の建築文化を国の内外に広く発信するとともに、そのための拠点となる施設を整備する。

金沢の建築文化を発信（マップ等の作成・配布）

建築文化発信展覧会の開催

アーキテクチャー・ツーリズムの構築

建築文化拠点施設の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
「カナザワ ケンチク サンボ」作成・配布		
建築展覧会開催 済		
アーキテクチャー・ツーリズム モデルコースの開発・発信		
基本計画 済	実施計画・整備	

金沢駅西広場周辺における新たな賑わい拠点施設の整備促進

金沢駅西広場周辺におけるNHKや銀行などの移転整備を契機に、周辺地区での民間活力による商業施設や業務施設が複合した高度業務機能の集積を図る。また、金沢駅西周辺の公共用地等を活用し、インターナショナルブランドホテルの誘致等、賑わい創出に努める。

金沢駅西広場周辺地域の利活用

インターナショナルブランドホテルの誘致

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
提案協議・設計・整備・開業		

スポーツの振興・拠点整備

市民のライフステージに応じたスポーツ機会の提供や世界に羽ばたくトップアスリートの育成、プロスポーツの支援等に向けて、新時代のニーズに対応したスポーツ拠点を整備します。また、スポーツによる市民交流や金沢マラソンの開催、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたキャンプ地誘致に取り組み、地域振興につなげます。

城北市民運動公園の本格整備

市民の多様なスポーツレクリエーションニーズに対応するため、屋内プールをはじめとした大規模な運動施設や屋内広場、開放的な広場空間等を有し、災害時には広域避難地等の機能を持つ総合運動公園の整備を本格化する。



城北市民運動公園の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
城北市民運動公園 施設整備		

内川・戸室のスポーツ広場の整備

内川第二建設発生土処理施設埋立場跡地をソフトボール場やサッカー場など多目的運動広場として整備する。また、戸室スポーツ広場においては、少年野球場、芝生広場などの拡張整備を行う。

内川多目的運動広場の整備

戸室スポーツ広場の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
		内川多目的運動広場整備
		戸室スポーツ広場整備

安原ボールパークの整備

地元密着型プロスポーツチームの活動を支援するため、安原スポーツ広場の施設機能を拡充し、安原ボールパークとして整備する。



安原ボールパークの整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	安原ボールパーク整備	

金沢マラソンの開催

北陸新幹線の金沢開業を機に、国内外から多くのランナーの参加を得て、市民、企業と一体となったフルマラソンを開催する。

金沢マラソンの開催

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢マラソン初開催 済	継続開催	

スポーツイベントの積極誘致に向けたスポーツ大使の任命とコミッションの設立

本市ゆかりの著名なスポーツ選手を大使に任命するとともに、県や関係団体と連携し、スポーツの誘致活動を展開するコミッションの設立をめざす。また、東京オリンピック・パラリンピック開催時のキャンプ地誘致に取り組むほか、トップレベルの各種競技会や1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭など、全国規模のイベントを積極的に開催する。

スポーツ大使の任命とスポーツコミッションの設立

トップアスリートとのふれあいの場を提供

1000万人ラジオ体操の開催

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
スポーツ大使任命、スポーツコミッション検討・設立		運営
五輪選手等による実技指導・体験教室等の開催		
1000万人ラジオ体操開催 済		

4 . 新幹線時代に対応した交通基盤の整備

国際物流等の拠点整備

北陸新幹線の開業に併せ、県と連携し、金沢の海のゲートウェイである金沢港のコンテナ貨物取り扱いの増加や大型旅客船の誘致を加速させるため、物流機能及び国際観光機能の強化に努めるとともに、ベイエリアの活性化や賑わい創出を図ります。

金沢港の整備促進

国際物流の拠点であり、また、旅客船が多く寄港するなど、観光交流拠点である金沢港のさらなる発展をめざし、県と連携して港湾整備を進め、日本海側拠点港にふさわしい機能の強化を図る。



金沢港大水深岸壁の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢港 大水深岸壁(-13m)整備		

金沢港の活性化・利用促進

関係機関と連携し、金沢みなと会館のあり方を調査・検討するよう働きかけを行い、港湾施設の充実をめざす。また、金沢港周辺地域を物流拠点や観光スポットとして魅力あるものにしていくとともに、市中心部との交通アクセスを強化するなど、賑わいと活性化に努める。

金沢港周辺地域における賑わいの創出
金沢みなと会館のあり方を検討

定期航路の拡充

物流や観光の日本海側の拠点港にふさわしい港となるよう、県や関係機関と連携しながら定期航路の拡充に努めるとともに、ポートセールスなど、国の内外に向けた誘致活動を強化する。

定期航路拡充に向けたポートセールス

金沢港物流ネットワーク道路の整備

金沢港大水深岸壁と北部及び南西部の工業団地を結ぶ物流ネットワーク道路網を構築することにより、港までの輸送時間の短縮等を図る。

金沢港物流ネットワーク道路の整備



北陸新幹線の建設促進

高速交通体系の柱として、沿線地域の発展にも寄与する北陸新幹線の早期全線開業に向けた取り組みを推進する。

北陸新幹線の金沢開業

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
北陸新幹線 金沢開業 済		

小松空港の活性化

日本海側の拠点空港としての役割を担っていくため、石川県や関係自治体と連携し、空港の利便性に磨きをかけ、一層の利用促進を図るとともに、アジア近隣諸国等との旅客便の就航を促進する。

小松空港協議会、航空乗継利用促進協議会による活動

都市内交通ネットワークの確立

新交通システムの導入を検討していくなど、交通事業者と連携して、新しい交通システムの整備に取り組み、新幹線時代に対応した都市内交通ネットワークを確立します。

新しい交通システムの導入

まちなかへのマイカーの流入を抑制し、公共交通優先のまちづくりを促進するため、走行空間の確保やコストなど、導入に係る課題を分析し、市民参加による協議やバス専用レーンの拡充などの交通実験を行いながら、都心軸の特性にふさわしい新しい交通システムの導入に向けて、段階的に条件整備を進める。

新しい交通システムの導入

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
市民参加による協議・交通実験 済	段階的な条件整備	新システムの導入着手

交通ネットワークの充実

新しい交通システムの導入を視野に、既存のバス路線等とのバランスを考慮した交通体系を確立するため、バス路線の再編など、市域全体の公共交通ネットワークの充実を図る。

交通ネットワークの充実

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
バス路線の再編検討 済	バス路線の再編計画	交通ネットワークの充実

まちなか周遊バスの導入

既存路線との結節機能の強化やバス空白地区の改善を図り、まちなかにおける回遊性の向上を図るため、金沢駅を起終点とした、まちなかを双方向でループする「まちなか周遊バス」を導入する。

まちなか周遊バスの導入

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
まちなか周遊バス運行開始 済		

パーク・アンド・ライド駐車場の充実と公共交通利用環境の向上

シェルター付きのバス停や駐輪場等を整備するなど、公共交通重要路線及び鉄道線の利用環境の向上に努めるとともに、通勤時やゴールデンウィーク等の観光期を含め、年間を通して利用することができるパーク・アンド・ライド駐車場を増設することで、まちなかへの自動車の流入を抑制し、公共交通の利用を促進する。

待合施設やパーク・アンド・ライド駐車場の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
バス待合施設整備、パーク・アンド・ライド駐車場整備		

都市内交通案内の充実

バスやタクシー等、公共交通に関する案内システムの設置や案内所機能を強化するほか、ICTを活用した交通情報の充実を図る。



二次交通案内の充実

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
バス発車案内システム 案内板等の設置 済		

地域コミュニティバスの運行支援

市郊外や中山間地域など交通不便地帯において、地域住民が主体となった公共交通を補完するための移動手段の運行を支援する。併せて、既存のバス路線等とのバランスを考慮した交通体系を確立し、市域全体の公共交通ネットワークの充実を図る。

地域運営交通の確保

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
地域コミュニティバス 運行支援開始 済	運行支援の継続	

5. あらゆる世代に対応した新たなコミュニティの形成

市民交流・人材育成機能の強化

市民が互いに地域社会における役割を認識し、他者との関わりを大切にする社会をめざし、その礎となる教育の充実に努め、絆やつながりのある温かいまちをめざします。

教育振興基本計画の策定と新学校教育金沢モデルの実践

金沢市における今後の教育の道しるべとなる教育振興基本計画の策定に取り組むとともに、これに基づき、知・徳・体の調和のとれた子供たちの育成や金沢への愛着と誇りが持てる教育を推進していくための新たな学校教育の金沢モデルを構築し、全国に誇りうる高い教育水準の確立をめざす。

教育振興基本計画の策定・実践

新学校教育金沢モデルの実践

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
教育振興基本計画の策定 新学校教育金沢モデルの検討	実践	

特別支援教育サポートセンターの整備と教育プラザとの連携強化

中央小学校芳齋分校の改築に併せ、小将町中学校特学分校を移転し、特別支援教育サポートセンターの整備を行い、支援が必要な子供たちへの集団のメリットを生かした学び合いの教育や、担当する教員への実践的・実務的な研修などを行うとともに、教育プラザ富樫・此花との連携を強化し、就学に向けた幼児発達相談、発達障害のある児童の支援、不登校児童の学校復帰に向けた対応など、子供の健やかな成長のための支援体制を強化する。

特別支援教育サポートセンターの整備

教育プラザとの連携強化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
教育プラザ此花開設	特別支援教育サポートセンター整備・教育プラザとの連携強化	

学校規模の適正化と中学校の通学区域の検討

金沢市立小中学校の規模適正化に取り組み、児童生徒の学習環境と教育効果の向上をめざす。また、中学校学校選択制の検証を行うとともに、小中一貫教育の本格実施に向けて、中央地区での中学校の新設を含めた中学校の通学区域のあり方を検討し、教育環境の向上を図る。

小中学校の規模適正化の推進

中学校の通学区域のあり方の検討

泉小学校及び泉中学校建設

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
規模適正化の推進		
通学区域の検証・見直しの検討	通学区域の改善	
協議・設計・建設（泉小学校・泉中学校）		

生涯学習施設の再編と市民交流センターの開設

現在の中央公民館長町館を再整備し、生涯学習の拠点となる新たな中央公民館を開設するほか、彦三館を高齢者交流の拠点施設に、また、長土堀交流館を青少年交流の拠点施設にするなど、まちなか旧小学校校舎等の既存のインフラを活用して、青少年、高齢者などを核とした市民の交流拠点を整備する。



- 長土堀交流館の再整備
- 中央公民館長町館の再整備
- 中央公民館彦三館の機能充実

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
長土堀交流館の再整備検討 済	再整備	

市民活動サポートセンターの設置

「まちづくり活動」「文化活動」「絆づくりの活動」等の市民活動を活発化させ、地域、団体の垣根を越えた交流を促進することにより、自立と協働のまちづくりを加速させるとともに、新たに市民活動サポートセンターを設置し、市民団体等の結成・連携の支援を行うなど、市民活動や地域コミュニティの活性化を図る。

- 市民活動の交流を支援
- 市民活動サポートセンターの設置

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
地域住民の市民活動の交流を支援		
	市民活動サポートセンター設置	

「役割」と「居場所」づくりによるいきいきシニア活動の推進

元気な高齢者が、その豊かな知識・経験を生かし、地域の福祉活動やボランティア活動等へ積極的に参画することで、自らの「役割」や「居場所」が実感できるよう、動機付けのための仕組みを構築し、健康でいきいきと生活できる環境づくりを推進する。

介護支援ボランティア制度導入に向けた検討

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
介護支援ボランティア制度の導入に向けた検討		

交流による里山の活性化

金沢の森を後代に継承するため、市民との協働による元気な中山間地域づくりに努めるとともに、高齢者宅の生活支援等を行う里山の灯りサポート事業などに取り組み、過疎化、高齢化が進む里山を元気にします。

金沢産材備蓄・流通システムの構築

森林所有者が自ら山林を整備する仕組みを検討するとともに、森林資源を有効活用するため、中山間地域の旧小学校跡地などを活用して、林地残材を地場産品等に交換する金沢・木の駅プロジェクトを推進する。また、金沢産材の搬入から加工、供給までを行う備蓄・流通システムの構築について検討する。



金沢・木の駅プロジェクトの推進 金沢産材備蓄・流通システムの検討

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢・木の駅プロジェクト試行・実施		
	金沢産材備蓄・流通システムの検討	

中山間地域における元気な里山の活性化

（シルバー人材センターと連携した里山の活性化）

高齢者雇用の観点から、シルバー人材センターと連携し、森林整備、高齢者宅の生活支援等を実施することにより、里山の住環境の向上を図る。

「里山の灯りサポート」事業による連携強化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
モデル事業の実施と検証 済	里山再生推進事業実施	

（元気な里山リニューアル）

人が住み、都市と交流する元気な中山間地域の形成をめざすため、地域の拠点機能を設け、外部人材の活用も図りながら、農産物の直売による地産地消の推進や里山を舞台としたイベントの開催など、里山の活性化に取り組む。

里山の活性化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
トライアル事業支援・拠点検討済	トライアル事業支援継続・拠点整備	

再生可能エネルギーの率先導入

大学、NPO、企業、研究機関と連携し、再生可能エネルギーの導入促進に取り組むとともに、参加団体のネットワークを構築する。また、木質ペレットの地産地消を図り、未利用森林資源の有効活用を推進する。

再生可能エネルギー導入促進会議の開催

木質ペレットの生産・利活用の推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
再生可能エネルギーに関する調査・研究・会議開催		
木質ペレット導入・啓発、流通網整備、民間流通支援		

市民や学生との協働による地域農産物づくり

1地域1作物のブランド化を進めるなど、遊休農地等を活用した生産者、住民、学生などの協働による生産拡大等の取り組みを支援する。

地域農産物を活かした市民協働を支援

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
ブランド化・地域おこし支援策の検討・実施		

農地オーナー制度の導入

米やそばなどの農地オーナー制度を導入し、収穫体験の実施とともに地域や周辺の市有施設と連携を図ることにより、耕作放棄地の発生防止と里山の活性化をめざす。

農地オーナー制度の導入

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
農地オーナー制度検討・導入 済	活性化推進	

主要施策

重 は、重点的に取り組む施策

1	魅力づくり	
	伝統と創造で発展するまち	・・・ 3 0
	学術・観光資源を活かすまち	・・・ 3 7
2	まちづくり	
	品格と機能性が両立するまち	・・・ 4 3
	拠点性が高まるまち	・・・ 5 2
3	ものづくり	
	グローバル・ネットワークを活かしたまち	・・・ 5 6
	農林業が持続的に発展するまち	・・・ 6 3
4	ひとづくり	
	豊かな人間性を育むまち	・・・ 6 7
	次世代を担う人材を育てるまち	・・・ 7 3
5	環境づくり	
	環境への負荷が少ないまち	・・・ 7 4
	潤いある生活ができるまち	・・・ 7 7
6	くらしづくり	
	災害に強いまち	・・・ 7 8
	健やかな暮らしを支えるまち	・・・ 8 2
7	絆づくり	
	地域コミュニティを支えるまち	・・・ 8 8
	地方の自立をめざすまち	・・・ 9 1

1 魅力づくり ～個性を伸ばす～

伝統と創造で発展するまち

歴史文化資産の活用

重 本多町歴史文化ゾーンの整備

藩政時代から醸成されてきた歴史資産を活用していくため、本多町地区において、回遊性の更なる向上と質の高い散策空間の創出に向けた整備を進めるとともに、本多家上屋敷の門跡・土塀及び下屋敷へ続く道跡周辺、鈴木大拙館へと向かう「緑の小径」の連携強化や、本多歴史の森に関連する文化財の発掘・整備に取り組む。

本多町歴史文化ゾーン散策空間の整備

本多歴史の森関連文化財の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
散策空間整備計画 済	整備	
本多家上屋敷門跡等活用計画 済	整備	

重 桜橋詰・寺町台界隈の整備

寺町台地区において、重伝建地区の選定を機に犀川河畔の散策路等を整備するとともに、無電柱化を推進するなど、回遊性と魅力の向上を図る。

寺町台地区の無電柱化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	期（蛤坂～六斗の広見） 無電柱化整備	期（犀川大橋～蛤坂） 無電柱化整備

重 金澤町家情報館の整備

市指定保存建造物となっている市所有の金澤町家を金澤町家情報館として整備し、金澤町家に関する総合的な相談・情報提供等の拠点施設として金澤町家の保全・活用を推進する。

金澤町家情報館の整備

金澤町家の修理・修景の支援等

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	金澤町家情報館整備	
金澤町家の流通コンサルティング、修理・修景へ助成		

金沢縄文文化館の整備

縄文時代の国史跡チカモリ遺跡の出土木柱根及び縄文時代の高度な工芸技術を示す中屋サワ遺跡出土品を適切に管理し、公開するため、埋蔵文化財センター内に金沢縄文文化館を整備する。

金沢縄文文化館の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢縄文文化館整備 済		

伝統的建造物群の保存整備

重要伝統的建造物群保存地区の建造物等の修理・修景への支援に加え、防災対策を実施し、歴史的まちなみの面的保存を図る。

伝統的建造物群の保存・修景

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
地区内建造物の修理・修景へ助成		
卯辰山麓・寺町台地区 防災計画策定 済	卯辰山麓・寺町台地区 消防設備整備	

惣構跡の復元

城下町金沢の形成過程で重要な要素をなす内外惣構の発掘調査をもとに、貴重な歴史資産として、尾張町や本町（升形地点）などで惣構跡を復元整備する。

惣構跡の復元整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
東内惣構跡(尾張町)復元整備 済	西外惣構跡(升形)復元整備	

創造都市の推進

重 創造都市交流事業の推進

国内外の創造都市との交流を推進するなど、創造都市・金沢を国内外に発信し、本市の文化・産業を一層発展させる。

(ユネスコ創造都市ネットワーク世界会議の開催)

創造都市のあり方や連携方策などを議論するユネスコ創造都市ネットワーク世界会議を開催する。

(「創造都市ネットワーク日本」との連携)

世界の創造都市間の連携・交流を促進することを目的に設立された「創造都市ネットワーク日本」と連携し、様々な交流事業に参画するとともに、世界会議の開催に併せてユネスコと国内ネットワークとのハブ的役割を担っていく。

(世界会議開催を契機とした創造都市交流の推進)

世界会議開催を契機として、東アジアの都市との交流、異なる分野の都市との連携という2つの方向性から、創造都市間の一層の交流を図る。

創造都市交流事業の推進

前期 (25～27年度)	中期 (28～30年度)	後期 (31～34年度)
創造都市ネットワーク 世界会議開催 済		
国内ネットワーク 代表幹事市就任 済		
ネットワークを通じた交流・発信		

東アジア文化都市との連携強化

東京オリンピック文化プログラムや工芸サミットの開催に向け、若手工芸家の派遣や文化事業における相互派遣等を通じて交流を続けている東アジア諸都市との関係をさらに深化させるための連携事業を実施する。

東アジア文化都市事業の実施

前期 (25～27年度)	中期 (28～30年度)	後期 (31～34年度)
検討 済	実施	

国際交流戦略プランの策定と実践

本市の総合的な国際化を推進するための「国際交流戦略プラン」を策定し、各種施策を計画的に進める。

国際交流戦略プランの策定・実践

前期 (25～27年度)	中期 (28～30年度)	後期 (31～34年度)
国際交流戦略プランの策定 済	事業の推進・実践	

伝統文化の継承・発展

金沢くらしの文化の継承と発信

藩政期以来、人々の生活や生業の中で連綿と受け継がれてきた年中行事や特色ある遊び、ことば、料理など、金沢のくらしの中の文化が体感できる施設として、金沢くらしの博物館をリニューアルするとともに、くらしの中に息づく文化や民俗文化財の保存についての調査・研究を進める。

**金沢くらしの博物館リニューアル
金沢くらしの文化の調査・魅力発信**

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢くらしの博物館リニューアル		
金沢くらしの文化の調査・魅力発信		

民俗芸能の継承

地域に根付き受け継がれてきた民俗芸能を、後世に継承していくため、無形民俗文化財への指定に向けた詳細調査を進めるとともに、指定後の継承活動への支援制度を創設する。

金沢の民俗芸能の継承

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
無形民俗文化財保存調査 済	無形民俗文化財指定・継承活動支援制度の創設・支援	

伝統文化子ども塾の交流

「加賀宝生」、「素囃子」、「工芸」、「茶道」の4つの子ども塾の成果披露、お稽古の体験会を開催することにより、子どもたちが伝統文化に親しむ機会の創出を図り、伝統文化の担い手育成につなげる。

伝統文化子ども塾の交流

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
子ども塾の交流		

食文化の継承・発展

重 金沢の食文化の継承及び振興

金沢の食文化を継承、振興するため、推進委員会を設置し、各団体への取り組みを支援するとともに、市民への意識啓発や国内外への情報発信を推進する。

金沢の食文化の継承・振興

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
推進委員会の設置 各団体の取り組み支援と情報発信 済	各団体の取り組み支援と情報発信	

重 金沢の食文化発信イベントの開催

「dining gallery 銀座の金沢」において、加賀野菜や金沢の海の幸を使用した特別メニューを提供するなど、食文化を中心に、金沢の魅力を発信する。

金沢の食文化発信イベントの開催

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢フェアの開催 済	検証し、継続開催	

伝統工芸の技法を用いた「器」による食文化の魅力発信

金沢九谷など、金沢の特色である伝統工芸の技法を用いた本物の「器」を制作し、レセプションやイベント等で活用することで、金沢の食文化の魅力を発信する。

金沢の食文化発信プロジェクトの推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
伝統工芸の技法を用いた 「器」の制作・発信 済	発信の継続	

金沢食文化ツーリズムの構築

加賀料理や茶の湯、加賀野菜などの食材、クラフト製品などの器や建物、部屋のしつらえなど、金沢の食文化をツーリズム素材として発掘・収集・磨き上げ等を行い、ツアーを造成することで、金沢の食文化の魅力を発信する。

金沢食文化ツーリズムの構築・発信

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢食文化ツーリズム 構築・発信		

金沢の食文化PR映像の制作

一流のクリエイターにより、金沢の食文化の魅力を発信する映像媒体を制作し、首都圏の展示会へ出展する事業者や市民へ貸し出すとともに、イベントでの積極的な活用を図る。

金沢の食文化PR映像の制作・発信

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢の食文化PR映像制作・発信		

重 海の幸の魅力発信

金沢の食文化に欠くことのできない海の幸の魅力を発信するため、推進連絡会を開催するとともに、PR活動を実施する。

金沢の海の幸の魅力を発信

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
PR活動の実施など		

全国伝統野菜サミットの開催

全国の伝統野菜ブランドを集めたサミットを開催し、全国各地からの誘客及び本市の農産物や食文化の魅力発信に努める。

全国伝統野菜サミットの開催

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	全国伝統野菜サミット開催	

新たな文化の創造・発信

重 文化創生新戦略2020の推進

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、本市の文化芸術の交流・発信のための行動計画を策定し、伝統工芸の充実、現代アートの発信強化、文化芸術を担う人材の育成、文化芸術の世界発信のための施策を推進する。

文化創生新戦略2020の推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
施策の推進		

重 建築文化の発信

歴史あるまちなみの中にあって、金沢21世紀美術館や鈴木大拙館、金沢駅もてなしドーム、金沢海みらい図書館などの現代建築が、世界から高い評価を得て新たなまちのシンボルともなっていることから、連綿と育まれてきた質の高い金沢の建築文化を国の内外に広く発信するとともに、そのための拠点となる施設を整備する。

金沢の建築文化を発信（マップ等の作成・配布）

建築文化発信展覧会の開催

アーキテクチャー・ツーリズムの構築

建築文化拠点施設の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
「カナザワ ケンチク サンポ」作成・配布		
建築展覧会開催 済		
アーキテクチャー・ツーリズム モデルコースの開発・発信		
基本計画 済	実施計画・整備	

金沢21世紀美術館と国内外の美術館との交流

フランスを代表する現代アートの美術館であるポンピドゥー・センター国立近代美術館をはじめ、国内外の美術館との交流を行い、金沢21世紀美術館の一層の発展を図る。

国内外の美術館と連携した企画展の開催

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
ポンピドゥー・センター国立近代美術館との共同企画展開催 済		

学術・観光資源を活かすまち

M I C E の促進

重 M I C E の積極的な推進

伝統芸能披露や金沢クラフトツーリズムを実施する金沢版M I C Eを推進するとともに、同時通訳設備のオペレーティングやシャトルバス運行等への支援を充実する。

M I C E の推進

国際的M I C E 開催支援強化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
官民連携によるM I C E 誘致、開催費助成		
助成制度拡充の検討・実施	済	

大学ゼミ合宿等の誘致

歴史・学術・文化・美術工芸などを研究テーマとしたゼミ合宿の誘致を図る。また、歴史的建造物、町家、寺社などを活用した他都市には真似のできないユニークな合宿環境づくりとそのコーディネートに取り組む。

大学ゼミ合宿の誘致

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
ゼミ合宿の誘致		

姉妹都市等からの研修旅行を誘致

姉妹都市をはじめとする世界各都市の学生等を対象に金沢での語学研修やホームステイ、自然・スポーツ・伝統工芸を体験してもらうなど、金沢の魅力を肌で感じてもらうための研修旅行を誘致する。

姉妹都市等からの研修旅行を誘致

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
姉妹都市等の研修旅行の誘致		

重 文化ホール等における国際会議機能の充実

市内のホテル・旅館・既存ホール等を活用し、世界の交流拠点都市にふさわしい国際会議機能の充実を図る。特に、老朽化している金沢市文化ホールの国際会議機能を強化するとともに、まちなかにおけるコンベンション機能のあり方を検討する。

金沢市文化ホールの改修、国際会議機能の充実

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢市文化ホール改修		

観光力の強化

重 金沢版DMOによる滞在型観光の推進と戦略的な海外誘客の促進

金沢市観光協会を金沢版DMOとしてワンストップサービスを行うとともに、多様な人材育成や魅力的な旅行商品の企画造成を通じて、滞在型観光を推進する。また、重点的に海外プロモーションを行うとともに、金沢ファン拡大のための事業展開を強化し、宿泊や交通、観光案内、買い物における受入環境を整備するなど、海外誘客に取り組む。

金沢版DMOによる滞在型観光の推進 戦略的な海外誘客の促進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢版DMOによる滞在型観光の推進		
海外プロモーションの重点実施・受入環境整備など		

プロモーションの強化と受け入れ環境の整備

北陸新幹線開業の効果を最大限に引き出すため、プロモーションの強化やもてなし気運の醸成など受け入れ環境の整備に取り組む。

北陸新幹線沿線都市等と連携したプロモーションの推進

プロモーションCMの制作・発信

ICTを活用した観光情報の発信

スマートフォン対応ページの構築と多言語化の推進

四季を通じた販わい創出・観光誘客イベントの開催

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
新幹線開業プロモーション・イベント実施計画の着実な推進		
金沢市観光戦略プラン2016の着実な推進		

重 ナイトカルチャーによる賑わい創出

文化施設でのナイトミュージアムを推進することで、夜間の賑わいを創出し、滞在型観光の誘客促進を図るとともに、文化財指定された建築物のライトアップやプロジェクションマッピング等の実施により、夜のさらなる魅力アップに努める。

ナイトミュージアムの推進
 ナイト文化財の魅力発信
 夜のにぎわいを創出

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
文化施設の夜間延長開放 済	検証のうえ実施	
文化財の夜間ライトアップ 済		
プロジェクションマッピング等 済		

重 金沢らしい品格のある夜間景観の創出

歴史・文化・芸能など、地域特性を踏まえた夜間における眺望点を設定するとともに、夜間景観基準を見直すなど、和の灯りで構成された歴史都市金沢にふさわしい品格と暖かみのある夜間景観の創出に努める。

金沢らしい夜間景観の創出
 品格ある夜間景観の発信

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
夜間景観基準の見直し、歴史的景観保全区域内における照明施設整備		
	眺望点の設定・発信	

川筋景観の保全と活用

条例の制定を視野に、犀川・浅野川の川筋景観の保全と魅力発信に努める。

条例の制定

浅野川界限の橋梁ライトアップ事業の推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
条例制定の検討		
橋梁照明の整備		

国際交流特使の任命と魅力の発信

留学生OBや国際交流員OBを「国際交流特使」として任命し、ソーシャルネットワーク等を利用して、本市の魅力や観光情報等を多言語で発信する。

国際交流特使等による本市の魅力等の発信

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
国際交流特使の任命 済	観光情報等の発信	

重 金沢プレミアム旅行の企画

著名な作家や職人によるギャラリートークや工芸体験指導、学識者による文化施設案内など、これまでにない「特別感のある」「本物志向の」「上質な」旅を企画し、富裕層を中心に発信する。

金沢の工芸にふれる旅行商品の開発

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢プレミアム旅行の商品化・発信		

スポーツの振興

重 城北市民運動公園の本格整備

市民の多様なスポーツレクリエーションニーズに対応するため、屋内プールをはじめとした大規模な運動施設や屋内広場、開放的な広場空間等を有し、災害時には広域避難地等の機能を持つ総合運動公園の整備を本格化する。

城北市民運動公園の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
城北市民運動公園 施設整備		

重 内川・戸室のスポーツ広場の整備

内川第二建設発生土処理施設埋立場跡地をソフトボール場やサッカー場など、多目的運動広場として整備する。また、戸室スポーツ広場においては、少年野球場、芝生広場などの拡張整備を行う。

内川多目的運動広場の整備

戸室スポーツ広場の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
		内川多目的運動広場整備
		戸室スポーツ広場整備

重 安原ボールパークの整備

地元密着型プロスポーツチームの活動を支援するため、安原スポーツ広場の施設機能を拡充し、安原ボールパークとして整備する。

安原ボールパークの整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	安原ボールパーク整備	

重 金沢マラソンの開催

北陸新幹線の金沢開業を機に、国内外から多くのランナーの参加を得て、市民、企業と一体となったフルマラソンを開催する。

金沢マラソンの開催

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢マラソン初開催 済	継続開催	

重 スポーツイベントの積極誘致に向けたスポーツ大使の任命とコミッションの設立

本市ゆかりの著名なスポーツ選手を大使に任命するとともに、県や関係団体と連携し、スポーツの誘致活動を展開するコミッションの設立をめざす。また、東京オリンピック・パラリンピック開催時のキャンプ地誘致に取り組むほか、トップレベルの各種競技会や1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭など、全国規模のイベントを積極的に開催する。

スポーツ大使の任命とスポーツコミッションの設立

トップアスリートとのふれあいの場を提供

1000万人ラジオ体操の開催

前期(25~27年度)	中期(28~30年度)	後期(31~34年度)
スポーツ大使任命、スポーツコミッション検討・設立		運営
五輪選手等による実技指導・体験教室等の開催		
1000万人ラジオ体操開催 済		

地域スポーツコーディネーターの育成

市民スポーツを振興するため、地域において指導・助言を行うスポーツコーディネーターを育成する。

地域スポーツコーディネーターの育成

前期(25~27年度)	中期(28~30年度)	後期(31~34年度)
地域スポーツ コーディネーター育成 済		

高等教育機関の集積効果の活用

高等教育機関等とのネットワークの強化

文化施設の学芸員・研究員を活用し、大学コンソーシアム石川や高等教育機関等との連携による講座を開催するなど、ネットワークの強化を図る。

高等教育機関等とのネットワーク強化

前期(25~27年度)	中期(28~30年度)	後期(31~34年度)
連携事業の強化		

2 まちづくり ～都市機能を高める～

品格と機能性が両立するまち

品格のあるまちづくりの推進

重要景観スポットの選定と良好な景観誘導

市民が日常の生活で大切にしてきた景観や後世に残し伝えたい景観スポットを選定し、屋外広告物をはじめとした景観誘導を図ることにより、良好な景観の創出と保全に取り組む。

重要景観のスポット選考及び景観保全

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	重要景観スポットの区域指定	

文化的景観の保存・整備

重要文化的景観保全・整備計画に基づき、区域内の景観の保全・整備を行うとともに、金沢城公園周辺の建物等の高さ規制の見直しを図る。

文化的景観の保存・整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
重要文化的景観区域内の 規制見直し、案内板設置 済		

長町武家屋敷群の保全と魅力の向上

長町武家屋敷群の景観地区指定を受け、その資産の価値付けを定義するとともに、まちなみの保全と魅力向上に向けた施設整備や支援策の充実を図る。

長町武家屋敷群の保全活用

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
長町武家屋敷群 施設整備、修理・修景へ助成		

無電柱化の推進

金沢方式無電柱化推進実施計画に基づき、文化的景観やまちなかの賑わい創出、災害に強いまちづくりをめざし、重伝建地区やまちなかなどで引き続き、無電柱化を推進する。

重伝建地区の無電柱化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
卯辰山麓地区（東山木町） 無電柱化整備 済	東山ひがし地区・卯辰山麓地区無電柱化整備	

重 卯辰山公園開園100年の再整備

卯辰山公園の立地特性や固有資源を再評価し、市民の交流空間を整備するなど、新たな価値を付加し、未来へ継承していくとともに、浅野川や重伝建地区など周辺のエリアや観光資源とのネットワーク化を図るほか、桜や紅葉の名所づくりに取り組む。

卯辰山公園の再整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
卯辰山公園開園100年魅力向上計画 済	再整備	

南町・尾山神社参道エリアの整備

加賀藩前田家ゆかりの尾山神社の参道周辺を整備し、回遊性の向上を図る。

尾山神社参道エリアの緑地整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
整備		

コンパクトな都市機能の集積

集約都市形成計画の策定

中心部に都市機能や居住機能を誘導するとともに、公共交通によるネットワークの構築を図るなど、コンパクトシティの形成に向けた計画を策定する。

集約都市形成計画の策定

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
基本計画策定 済	都市機能・居住誘導区域設定	

片町・香林坊・広坂エリアにおける都市機能の向上

兼六園や金沢21世紀美術館、鈴木大拙館、寺町寺院群等の観光拠点と南町ビジネス街を結ぶ交流結節点である片町・香林坊・広坂周辺地区の回遊性を高め、都市機能の向上を図る。

中心市街地の都市機能の向上（片町・香林坊・広坂エリア）

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
片町・香林坊・広坂個別調査 済	モデル事業の実施	事業化

片町地区における市街地再開発

北陸随一の繁華街である片町の活性化に向けて、片町A地区の市街地再開発事業を促進する。

片町A地区市街地再開発

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
片町A地区市街地再開発		

武蔵エリアにおける都市機能の向上

金沢駅や東山・主計町等の集客拠点と香林坊などの中心商業地を結ぶ交通結節点である武蔵地区の回遊性を高め、都市機能の向上を図る。

中心市街地の都市機能の向上（武蔵エリア）

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
調査検討 済	モデル事業の実施	事業化

武蔵エリアにおける市街地再開発等整備

武蔵エリアの活性化に向けて、駅武蔵南地区や近江町市場における市街地開発事業等の整備を促進する。

駅武蔵南地区市街地再開発

近江町市場複合商業施設の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
駅武蔵南地区市街地再開発		
近江町市場複合商業施設整備		

都心軸の再整備

都心軸における老朽ビル等の再整備に向けて、新たな国の制度を踏まえた耐震化、用途変更、共同化などの再整備を支援するとともに、土地の流動性を高めるための仕組みを検討する。

都心軸の再整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
老朽ビル等の耐震化、用途変更、共同化など		

都心軸等における出店の支援

都心軸沿線に広域的な集客力と魅力を兼ね備えた店舗の集積を促進するため、まちの核となる大手セレクトショップや有名ブランド店等の出店に対して、家賃や内外装等にかかる費用への助成を行う。

都心軸広域集客店舗出店促進

都心軸・中心市街地の出店促進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
都心軸・中心市街地への出店助成		

重 金澤ふうライフの発信

歴史資産などのまちの魅力や金沢でしか味わえない食など、金沢固有の“金澤ふうライフ”を富裕層、IT関連のクリエイターや建築家、デザイナーなどに発信し、定住や二地域居住につなげる。

金澤ふうライフの発信

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金澤ふうライフ 首都圏PR、体験事業 等		

首都圏等からの移住の促進

北陸新幹線金沢開業を移住人口増加の好機と捉え、かなざわ移住定住戦略会議を開催するとともに、移住相談窓口の一元化を図り、首都圏からの移住促進、若年者の流出防止を柱とした各種施策を展開するほか、金沢へのUJIターンを促進する。

移住情報の発信強化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
首都圏版かがやき発信講座、金沢UJIターンセミナーの開催など		

移住者の定住支援

移住者の郊外における住宅取得支援制度の創設やまちなかでの住宅取得支援制度の加算によって、金沢への移住・定住の一層の促進を図る。

移住者の住宅取得を支援

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
制度の創設・支援		

空き家防止対策の推進

空き家の利活用を促進するための情報バンクの創設やハウスシェアリングの促進を図るなど、増加する空き家の抑制に取り組むとともに、そのための条例を制定し、安全で安心な生活環境の保全と地域コミュニティの活性化を図る。

空き家再生の促進

条例の制定と事業の実施

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
空き家再生モデル事業実施 済		
条例制定の検討 済	条例に基づく空き家の管理・活用	

調和のとれた都市構造の形成

重 金沢美術工芸大学の移転整備

手狭で老朽化が進む金沢美術工芸大学の改築に向けて、文教地区にふさわしい施設整備をめざし、金沢大学工学部跡地への移転整備を推進する。

金沢大学工学部跡地の利活用検討

金沢美術工芸大学の移転整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
基本構想・設計・移転整備		

重 金沢駅西広場周辺における新たな賑わい拠点施設の整備促進

金沢駅西広場周辺におけるNHKや銀行などの移転整備を契機に、周辺地区での民間活力による商業施設や業務施設が複合した高度業務機能の集積を図る。また、金沢駅西周辺の公共用地等を活用し、インターナショナルブランドホテルの誘致等、賑わい創出に努める。

金沢駅西広場周辺地域の利活用

インターナショナルブランドホテルの誘致

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
提案協議・設計・整備・開業		

交通ネットワークの確立

重 新しい交通システムの導入

まちなかへのマイカーの流入を抑制し、公共交通優先のまちづくりを促進するため、走行空間の確保やコストなど、導入に係る課題を分析し、市民参加による協議やバス専用レーンの拡充などの交通実験を行いながら、都心軸の特性にふさわしい新しい交通システムの導入に向けて、段階的に条件整備を進める。

新しい交通システムの導入

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
市民参加による協議・交通実験 済	段階的な条件整備	新システムの導入着手

重 交通ネットワークの充実

新しい交通システムの導入を視野に、既存のバス路線等とのバランスを考慮した交通体系を確立するため、バス路線の再編など、市域全体の公共交通ネットワークの充実を図る。

交通ネットワークの充実

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
バス路線の再編検討 済	バス路線の再編計画	交通ネットワークの充実

重 まちなか周遊バスの導入

既存路線との結節機能の強化やバス空白地区の改善を図り、まちなかにおける回遊性の向上を図るため、金沢駅を起終点とした、まちなかを双方向でループする「まちなか周遊バス」を導入する。

まちなか周遊バスの導入

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
まちなか周遊バス運行開始 済		

重 パーク・アンド・ライド駐車場の充実と公共交通利用環境の向上

シェルター付きのバス停や駐輪場等を整備するなど、公共交通重要路線及び鉄道線の利用環境の向上に努めるとともに、通勤時やゴールデンウィーク等の観光期を含め、年間を通して利用することができるパーク・アンド・ライド駐車場を増設することで、まちなかへの自動車の流入を抑制し、公共交通の利用を促進する。

待合施設やパーク・アンド・ライド駐車場の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
バス待合施設整備、パーク・アンド・ライド駐車場整備		

重 都市内交通案内の充実

バスやタクシー等、公共交通に関する案内システムの設置や案内所機能を強化するほか、ICTを活用した交通情報の充実を図る。

二次交通案内の充実

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
バス発車案内システム 案内板等の設置 済		

重 地域コミュニティバスの運行支援

市郊外や中山間地域など交通不便地帯において、地域住民が主体となった公共交通を補完するための移動手段の運行を支援する。併せて、既存のバス路線等とのバランスを考慮した交通体系を確立し、市域全体の公共交通ネットワークの充実を図る。

地域運営交通の確保

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
地域コミュニティバス 運行支援開始 済	運行支援の継続	

安全で快適な自転車環境の創出**自転車通行空間等の整備**

自転車道、自転車レーン及び自転車走行指導帯や、まちなか及び郊外部のバス停周辺の自転車駐車場等、自転車が安全に通行できる空間などの計画的な整備を進める。

まちなか自転車利用環境向上計画具現化事業**自転車等駐車場整備事業**

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
自転車通行空間及び自転車駐車場の整備		

レンタサイクル「まちなり」の拡充

来街者の回遊性の向上や市民の日常の足としての都市内交通の充実を図るため、電動アシスト自転車の導入やポートの増設など、まちなりの機能強化を図る。

レンタサイクル「まちなり」の機能拡充

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
「まちなり」ポート増設 済	機器の更新の検討	機器の更新、ポートの拡充

自転車ルール遵守・マナー向上の促進

自転車の安全な利用の促進に関する条例を制定し、ルール遵守やマナー向上に向けて、市民等と協働で取り組む。

自転車教室等の実施

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
条例制定 済		
自転車教室、街頭指導等の実施		

情報インフラの整備・充実

情報インフラの整備と活用

公衆無線LANをはじめとする情報インフラの更なる整備を促進するとともに、無線LAN通信の先を見据えたモバイル通信の利活用をめざす。

情報インフラの整備促進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
公衆無線LAN(Wi-Fi)普及促進		
	次世代型モバイル通信への対応	

拠点性が高まるまち

広域交通基盤の整備・充実

重 金沢港の整備促進

国際物流の拠点であり、また、旅客船が多く寄港するなど、観光交流拠点である金沢港のさらなる発展をめざし、県と連携して港湾整備を進め、日本海側拠点港にふさわしい機能の強化を図る。

金沢港大水深岸壁の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢港 大水深岸壁(-13m)整備		

重 金沢港の活性化・利用促進

関係機関と連携し、金沢みなと会館のあり方を調査・検討するよう働きかけを行い、港湾施設の充実をめざす。また、金沢港周辺地域を物流拠点や観光スポットとして魅力あるものにしていくとともに、市中心部との交通アクセスを強化するなど、賑わいと活性化に努める。

金沢港周辺地域における賑わいの創出
金沢みなと会館のあり方を検討

重 定期航路の拡充

物流や観光の日本海側の拠点港にふさわしい港となるよう、県や関係機関と連携しながら定期航路の拡充に努めるとともに、ポートセールスなど、国の内外に向けた誘致活動を強化する。

定期航路拡充に向けたポートセールス

重 小松空港の活性化

日本海側の拠点空港としての役割を担っていくため、石川県や関係自治体と連携し、空港の利便性に磨きをかけ、一層の利用促進を図るとともに、アジア近隣諸国等との旅客便の就航を促進する。

小松空港協議会、航空乗継利用促進協議会による活動

重 北陸新幹線の建設促進

高速交通体系の柱として、沿線地域の発展にも寄与する北陸新幹線の早期全線開業に向けた取り組みを推進する。

北陸新幹線の金沢開業

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
北陸新幹線 金沢開業 済		

並行在来線の経営安定化

県と連携し、I R いしかわ鉄道株式会社の安定的な経営を図り、利便性の高い運行を支援する。

並行在来線の利便性の高い運行を支援

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
並行在来線の運行・基金積み立て		

金沢駅前広場の賑わい創出

北陸新幹線金沢開業に向け、金沢駅利用者の利便性を確保するとともに、交流を促進するため、金沢駅前広場の機能強化と賑わい創出を図る。

金沢駅前広場の賑わい創出

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
検討・整備 済	賑わい創出	

森本駅周辺広場の整備

森本駅周辺において、地域の活性化や交通の円滑化を目的に広場の整備を進める。

森本駅周辺の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
森本駅周辺 設計 済	整備	

道路インフラの整備・充実

重 金沢港物流ネットワーク道路の整備

金沢港大水深岸壁と北部及び南西部の工業団地を結ぶ物流ネットワーク道路網を構築することにより、港までの輸送時間の短縮等を図る。

金沢港物流ネットワーク道路の整備

海側幹線の整備促進

金沢と加賀・能登をつなぐ外環状道路海側幹線の整備を促進し、交通の円滑化を図り、道路ネットワークを形成する。

金沢外環状道路海側幹線の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
外環状道路海側幹線の整備		

新道路基本計画に基づく整備

新たな交通戦略及びコンパクトな都市機能の集積を見据え、新たな道路整備基本計画を策定し、ストック効果の高い道路整備を実施する。

新道路基本計画の策定と実施

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	策定	計画実施

圏域交流の推進

石川中央都市圏ビジョンの推進

地域経済のけん引や都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上などの面で、連携中枢都市としての役割を果たしていくため、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町と連携して「石川中央都市圏ビジョン」を推進する。

石川中央都市圏ビジョンの推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
策定 済	石川中央都市圏ビジョン懇談会 事業実施	

金沢駅周辺地域との連携強化

北陸新幹線の金沢開業に向けて圏域全体の魅力向上を図るため、新幹線が停車する金沢駅と周辺にある金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町の連携を強化し、観光振興や交通アクセスの向上、農産物のブランド化、もてなし力の向上などに取り組む。

新幹線金沢駅周辺地域連絡会の各種取組を推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢駅周辺地域連絡会 事業実施 済		

3 ものづくり ～活力を生み出す～

グローバル・ネットワークを活かしたまち

重 価値創造拠点施設の整備

金沢独自の技芸や文化を礎とした革新的な営みにより、この地でしか生み出し得ない文化的な価値が付加されたサービスや製品、知的財産を創出していくため、国内外の知識や情報が集積し、人々が交流することで叡智の融合を促す価値創造拠点を、交流拠点にふさわしい交通結節点に、民間活力を導入しながら整備する。

(価値創造サロンの創設)

起業家やクリエイター、デザイナー等、多様な分野の意欲ある人材が集い、まちづくりやものづくりに関する創造的な取り組みの課題解決に向けた情報交換を気軽に行える場を創設し、研究事業やワークショップなどを通して、新たな価値の創造を支援する。

(クリエイティブ・ベンチャーセンターの創設)

3Dプリンターなど最新のデジタル技術による実験的な創作の場としての機能を有しながら、ICTを活用した金沢ならではの先進的なビジネスモデルの構築、創造性に富んだ人材の発掘・育成などを通して、企業等の創造的で革新的な取り組みを支援するセンターを創設する。

(サポート機能の検討)

価値創造サロンやクリエイティブ・ベンチャーセンターの機能をサポートするため、多目的ホールや研修室、ショールーム、アート・学術に関するサテライト機能の設置を検討する。

多目的ホール・研修室

ワークショップ等を開催できる研修室や、新製品発表会など多様な情報を発信することができる多目的ホール。

ショールーム

「見る」、「買う」、「参加する」ことの新たな価値を提案し、先進的かつ創造的な生活スタイルを発信することができる展示施設。

アート・サテライト及び大学サテライト

金沢21世紀美術館や金沢美術工芸大学のサテライトギャラリーとしての機能や、単位取得が可能な授業が行える大学サテライト機能を持つ施設。

価値創造拠点の整備

前期 (25～27年度)	中期 (28～30年度)	後期 (31～34年度)
価値創造拠点検討 済	一部具現化、恒久施設の検討・整備	

金沢クラフトの振興

重 金沢クラフト首都圏魅力発信拠点の開設

北陸新幹線の金沢開業を機に、本市の魅力を総合的に発信する拠点施設を、情報と人の集積地である首都圏に開設する。東京にいながら金沢を体験できる施設として、金沢クラフトを展示するだけでなく、文化的な背景も含め、「茶会」や「芸能」、「食」などを通して「金沢体験」ができる場となるような事業を展開する。

併せて、金沢クラフトの振興のため、日常生活を豊かにする生活工芸を「生活工芸／金沢」としてブランディングし、首都圏において展示会を開催するなど、本市工芸の魅力を発信する。

金沢クラフト首都圏魅力発信拠点「dining gallery 銀座の金沢」の開設 生活工芸ブランディング

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
開設 済	dining gallery 銀座の金沢 を活用した展示会の開催	
首都圏展示会の開催 済		

重 クラフトカンパニーの創設

「金沢クラフトビジネス創造機構」において専門性の高いセミナーの企画や生活工芸のブランディングなど、作家等への具体的な支援策に取り組んできたことを踏まえ、卯辰山工芸工房とも連携し、ビジネス化に向けたより実践的なセミナーを開催するなど、さらなる金沢クラフトのビジネス化の推進と販路拡大を図るとともに、事業者の参加による法人化をめざす。

金沢クラフトカンパニーの設置

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
法人化実施 済		

金沢クラフト：伝統工芸をはじめとする本市の工芸全般を総称している。

重 職人等の創作活動の場の整備

職人等の創作活動の場を拡充するため、町家等を活用し、作り手の活動拠点を開設する。また、市内に点在するギャラリーを有機的に繋ぎ、金沢クラフトストリートを設定するとともに、金沢クラフトのシンボリックな施設を設ける。

金沢クラフトストリートの設定・発信

金沢クラフトスタジオの整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
ストリートマップ作成・発信済	発信の継続	
	金沢クラフトスタジオ整備	

重 卯辰山工芸工房の拡充と工芸文化研究所の設置

卯辰山工芸工房のハード・ソフト両面でのリニューアルを行い活性化を図るとともに、文化とビジネスを連関させ、金沢クラフトビジネス創造機構とも連携し、クリエイターの国際交流などの政策を推進するための研究所を開設する。

また、姉妹都市等で活躍する工芸作家を募集し、卯辰山工芸工房での創作活動を通して高度な技術交流を行うとともに、帰国後、金沢の工芸文化を発信してもらう。

卯辰山工芸工房のリニューアル

工芸文化研究所の設置

姉妹都市等の工芸作家による金沢の魅力発信

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	卯辰山工芸工房リニューアル	
	工芸文化研究所設置	
姉妹都市等工芸作家 招聘試行済	実施	

ものづくり産業の活性化

地域経済を支える地場産業への支援拡充

ものづくり戦略を再構築し、本市の地域経済を支える中小企業への支援策の拡充を図る。

次期「ものづくり戦略」の策定

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
ものづくり戦略の策定 済	戦略の実践	

ものづくり企業に対する総合的支援体制の構築

中小企業基盤整備機構や金融機関、業界団体、さらには大学等の教育機関と連携し、総合的にもものづくり企業を支援する体制を構築する。

総合的支援体制の構築・推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
総合的支援体制の構築、推進		

環境、福祉、医療等重点分野における研究開発の支援強化

環境、福祉、医療、再生可能エネルギー関連分野における産学連携や新製品開発、企業連携などの支援を強化し、ものづくり産業の高度化を図る。

重点分野における研究開発の支援強化

産学連携ものづくりプロジェクトの推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
連携・支援強化		

豊富な食材や企業・大学等の技術を活用した食品産業の振興

豊富な食材やブランドイメージの活用を図り、農商工連携や産学連携を促進しながら、安全でデザイン性や機能性に優れた魅力ある商品の開発を進める。

魅力ある商品づくりに向けた支援強化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
魅力ある商品づくり支援強化策検討・実施		

クリエイターの誘致

IT・映像・デザイン関連などの分野で、新たに市内で起業するクリエイターを対象に、オフィスの開設経費や賃借料に支援を行うことにより、IT関連産業のさらなる集積・振興を図る。

クリエイターのオフィス開設経費や賃借料を支援

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
クリエイター募集・支援		

次代のものづくりを担う人材の育成

小中学生からものづくりの楽しさや大切さを体験する機会を設けるとともに、市立工業高校において「金沢型工業教育モデル」を実践するなど、段階に応じ、感性と技術を身につけ、次代のものづくりを担う創造性豊かな人材の育成に取り組む。

小中学校向けものづくり体験等の実施

「金沢型工業教育モデル」の実践

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	体験教室等の実施	
	実践	

起業支援の強化

コミュニティビジネスの支援

地域における福祉の向上や地域の活性化、雇用の創出につながるコミュニティビジネスの立ち上げから自立までを支援する。

コミュニティビジネスによる起業を支援

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
起業機運醸成、自立支援		

若者の起業支援

開業前後にかかる運転資金及び家賃などの費用助成、さらにアドバイザーの派遣等を行うなど、起業を志す若者や開業してまもない若手起業家の支援に取り組む。

起業にチャレンジする若者を支援

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
若者起業者 奨励金支給・家賃助成・アドバイザー派遣		

企業立地の推進

金沢テクノパークにおける都市型産業の誘致

リスク分散など国内拠点を再編なども視野に入れて、高度技術産業など付加価値の高い都市型産業を誘致し、産業構造の高度化を推進する。

テクノパークに都市型産業を誘致

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
企業の立地・雇用・設備投資を支援		

金沢森本インター工業団地、いなほ・かたつ工業団地における企業立地の促進

金沢森本インター工業団地や、いなほ・かたつ工業団地において、製造や物流企業の立地を促進する。

金沢森本インター工業団地、いなほ・かたつ工業団地の企業立地促進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
企業の立地・雇用・設備投資を支援		

農林業が持続的に発展するまち

農業の振興

重 加賀野菜等のブランド力の向上と生産・販売の拡大

加賀野菜等の生産拡大をめざし、新たな生産者への支援や販売促進に努めるとともに、情報発信力の高い野菜ソムリエやシェフなどとの連携による首都圏での認知度の向上、機能性に着目した高付加価値化の推進等に取り組む。

野菜ソムリエ・シェフなど（料理人・パティシエ）の招聘とブランド力の向上
 加賀野菜等の生産拡大の推進
 加賀野菜の機能性に着目した高付加価値化の推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
野菜ソムリエ等招聘 済	連携して PR を推進	
支援策検討・実施、海外輸出検討		
調査研究		

希少農産物の生産拡大とブランド戦略の再構築

担い手の減少により、生産量の維持が困難となっている希少農産物の生産拡大をめざし、ブランド戦略の再構築と生産者の育成を図る。

金沢産農産物のブランド戦略を再構築
 金沢産米のブランド化推進・生産拡大
 加賀野菜等希少品目の栽培推進・生産拡大

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
流通等調査、戦略検討、農産物のブランド化推進		
ブランド化推進、普及・生産拡大		
調査、支援策検討、生産拡大支援		

農業インターンシップの推進

学生などの就農体験等を通じ、新たな農業従事者を発掘し、将来的な農業の担い手育成につなげる。

農業インターンシップの推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
インターンシップ検討・募集・実施		

林業の振興

重 金沢産材備蓄・流通システムの構築

森林所有者が自ら山林を整備する仕組みを検討するとともに、森林資源を有効活用するため、中山間地域の旧小学校跡地などを活用して、林地残材を地場産品等に交換する金沢・木の駅プロジェクトを推進する。また、金沢産材の搬入から加工、供給までを行う備蓄・流通システムの構築について検討する。

金沢・木の駅プロジェクトの推進

金沢産材備蓄・流通システムの検討

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢・木の駅プロジェクト試行・実施		
	金沢産材備蓄・流通システムの検討	

重 木質エネルギー利用の推進

未利用森林資源の有効活用、再生可能エネルギー導入をめざし、木質ペレットの地産地消を推進する。

木質ペレットの生産・利活用の推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
木質ペレット導入・啓発、流通網整備、民間流通支援		

重 シルバー人材センターと連携した里山の活性化

高齢者雇用の観点から、シルバー人材センターと連携し、森林整備、高齢者宅の生活支援等を実施することにより、里山の住環境の向上を図る。

「里山の灯りサポート」事業による連携強化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
モデル事業の実施と検証 済	里山再生推進事業実施	

中山間地域の活用

重 元気な里山リニューアル

人が住み、都市と交流する元気な中山間地域の形成をめざすため、地域の拠点機能を設け、外部人材の活用も図りながら、農産物の直売による地産地消の推進や里山を舞台としたイベントの開催など、里山の活性化に取り組む。

里山の活性化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
トライアル事業支援・拠点検討済	トライアル事業支援継続・拠点整備	

重 農地オーナー制度の導入

米やそばなどの農地オーナー制度を導入し、収穫体験の実施とともに地域や周辺の市有施設と連携を図ることにより、耕作放棄地の発生防止と里山の活性化をめざす。

農地オーナー制度の導入

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
農地オーナー制度検討・導入 済	活性化推進	

アートや伝統工芸による里山の活性化

学生や関係団体の参加によって、アートや伝統工芸と、里山や森林とを組み合わせたフェスティバル等のイベントを開催し、里山の活性化を図る。

里山における伝統工芸等のフェスティバルの開催

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
体制検討 済	フェスティバル開催	

重 市民や学生との協働による地域農産物づくり

1 地域 1 作物のブランド化を進めるなど、遊休農地等を活用した生産者、住民、学生などの協働による生産拡大等の取り組みを支援する。

地域農産物を活かした市民協働を支援

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
ブランド化・地域おこし支援策の検討・実施		

農業・里山体験の実施

過疎化・高齢化の進む中山間地域において、滞在型市民農園を開設することで、都市住民を呼び込み、癒しの場を提供するとともに、地域住民との交流を促進し、地域の活性化を図る。

滞在型市民農園の開設

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
検討、意向調査 済	市民農園開設	

4 ひとつくり ～未来を育む～

豊かな人間性を育むまち

特色のある教育の推進

重 教育振興基本計画の策定と実践

次代を担う金沢の子ども像をはじめ、本市の学校教育の道しるべとなる基本的な方向性を示し、取り組むべき政策を計画的、総合的に実践する。

教育振興基本計画の策定・実践

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
教育振興基本計画の策定 済	実践	

重 新学校教育金沢モデルの実践

知・徳・体の調和のとれた子供たちの育成や金沢への愛着と誇りが持てる教育を推進していくための新たな学校教育の金沢モデルを構築し、全国に誇りうる高い教育水準の確立をめざす。

新学校教育金沢モデルの実践

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
新学校教育金沢モデルの検討 済	実践	

小中一貫教育の推進

小学校と中学校の間で子供たちについての情報共有を促進し、9年間の育ちや学びの連続性を重視した教育を推進するため、教育課程づくり、授業づくり、人間関係づくり、組織づくりに取り組むなど、小中一貫教育の推進に努める。

金沢小中一貫教育の推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
検証 済	実践	

重 中学校の通学区域の検討

中学校学校選択制の検証を行うとともに、小中一貫教育の本格実施に向けて、中央地区での中学校の新設を含めた中学校の通学区域のあり方を検討し、教育環境の向上を図る。

中学校の通学区域のあり方の検討

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
通学区域の検証・見直しの検討済	通学区域の改善	

重 学校規模の適正化

金沢市立小中学校の規模適正化に取り組み、児童生徒の学習環境と教育効果の向上をめざす。

小中学校の規模適正化の推進**泉小学校及び泉中学校建設**

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
規模適正化の推進		
協議・設計・建設（泉小学校・泉中学校）		

小中学校施設の耐震化の推進

児童生徒が一日の大半を過ごし、災害時には地域住民の避難場所となる小中学校施設の耐震化を積極的に推進する。

小中学校の耐震化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
耐震化		

小中学校図書館における読書環境の充実

学校司書（学校図書館司書）を増員し、図書館環境を充実させることにより、図書館の授業への活用の促進や児童生徒の読書活動の向上を図る。

学校司書の配置

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
増員 済	研修等・充実	

重 特別支援教育サポートセンターの整備と教育プラザとの連携強化

中央小学校芳齋分校の改築に併せ、小將町中学校特学分校を移転し、特別支援教育サポートセンターの整備を行い、支援が必要な子供たちへの集団のメリットを生かした学び合いの教育や、担当する教員への実践的・実務的な研修などを行うとともに、教育プラザ富樫・此花との連携を強化し、就学に向けた幼児発達相談、発達障害のある児童の支援、不登校児童の学校復帰に向けた対応など、子供の健やかな成長のための支援体制を強化する。

**特別支援教育サポートセンターの整備
教育プラザとの連携強化**

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	特別支援教育サポートセンター整備	
教育プラザ此花開設 済	連携強化	

特別支援教育の充実

特別な教育的支援が必要な児童生徒に対する適切な指導方法の確立や特別支援教育支援員等の増員配置、保護者からの相談体制の充実に取り組む。

特別支援教育の充実

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
充実・強化		

いじめや問題行動等の防止と生徒指導支援室の設置

いじめや問題行動等の未然防止と早期発見、早期解決に向け、児童生徒や保護者の相談等に迅速かつ適切に対応する体制を整え、安全・安心な学校づくりに努める。

生徒指導支援室の設置・サポート

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
設置 済	指導助言	

学校給食共同調理場の再整備

北部地区での新たな共同調理場の建設及び鞍月共同調理場の改築により、老朽化施設を解消し、近代的な調理設備の導入による衛生的かつ効率的な学校給食の運営を図る。

共同調理場の再整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
検討		整備

生涯学習振興基本計画の実践

市民と行政がともにめざす「学び」の姿を示し、学習文化都市金沢として、創造性あふれるひと・まちづくりに資する生涯学習の一層の振興を図る。

生涯学習振興基本計画の実践

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
実践		

宇宙教育活動の充実と拠点づくり

宇宙航空研究開発機構（JAXA）との協定を機に、宇宙教育プログラムの充実を図り、キゴ山ふれあい研修センターを拠点に子供たちの夢を育む。

宇宙教育プログラムの充実

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
JAXAとの協定 済	宇宙教育プログラムの充実	

子育て環境の充実

妊娠、出産、育児を包括的に支援する体制（金沢版ネウボラ）の構築

妊娠時から子育て期にわたる包括的な相談や支援のためのワンストップ拠点を整備し、「かなざわ育みネットワーク」を活用して保健・医療・福祉・地域が連携することによる切れ目のない支援体制の構築を図るとともに、医療機関等民間施設との協働による新たな産後ケア事業等を実施する。

金沢版ネウボラの構築

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	支援拠点開設・ネットワーク拡充・新たな産後ケア事業の実施	

安心「妊娠・出産・育児」支援ネットワークの構築

妊娠から出産までの支援を充実させるため、子育てサロンやNPO、保育所等地域の子育て資源を含めたネットワーク化を図る。

安心「妊娠・出産・育児」支援ネットワークの構築

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
連絡会設置等	済	

駅西地区の子育て支援機能の充実

駅西福祉健康センターにおいて、利用者数が増加しているこども広場を拡充するとともに、八日市幼児相談室を移転し、子育て支援機能の充実を図る。

駅西地区子育て総合拠点の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	整備	

子育て支援医療費助成制度の拡充

少子化時代に対応し、子育て世代の支援を充実させるため、子供に対する医療費助成制度の対象を、入通院とも中学3年生までに拡大するとともに、助成方法の見直しを図る。

子育て支援医療費の助成対象の拡大

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
対象の拡大、現物給付化 済		

子ども・子育て支援施策の推進

子ども・子育て支援新制度に基づいて新たな事業計画を策定するとともに、保育などの子育て支援サービスのさらなる充実を図る。

子ども・子育て支援事業計画の策定と実施

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
策定 済	実施	

親子で楽しむ屋内施設の整備

子育て世代から要望の多い、冬季や雨天時等にも利用可能な全天候型の多目的広場等を有する施設の整備について、城北市民運動公園の屋内広場の活用を含めて検討する。

親子で楽しむ屋内施設の検討

家庭教育の推進

核家族化や地域のつながりの希薄化といった社会環境の変化を踏まえ、有識者による懇話会において家庭教育推進プログラムを策定し、保護者への情報提供や「親の学びの場」の提供を行うとともに、地域や学校との連携を強化して家庭教育を推進する。

家庭教育の推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	懇話会設置・推進プログラム策定	推進

次世代を担う人材を育てるまち

地域の担い手づくり

学生や若年層の地元定着の促進

高等教育機関、地元企業、行政との連携により学生と企業のマッチングを促進するとともに、学生と地域の交流によってまちに愛着を持つ学生を育てることにより、学生や若年層の地元定着を図る。

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）との連携

学生と企業のマッチングを促進

金沢美術工芸大学における地元定着の促進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	連携事業の実施	
	インターンシップ、説明会等実施	
	実施	

女性活躍促進プロジェクトによる男女共同参画社会づくりの推進

女性が活躍できるまち金沢の実現に向け、金沢女性活躍促進会議や金沢なでしこプロジェクトチームの活動から、新たに企業団体（業界団体）と連携した女性の活躍加速化に取り組み、男女共同参画社会づくりを推進する。

金沢市女性活躍促進プロジェクトの実施

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
実施 済	継続実施	

国際感覚を持つ人材の育成と外国人居住環境の整備

将来の国際交流を担う若い世代の人材を育成するとともに、留学生に対する就労等の情報提供や外国人住民への多言語での生活情報の提供等に努める。

青少年の相互派遣・受入の拡充

留学生や外国人住民向け情報支援

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
派遣受入の推進		
情報支援等		

5 環境づくり ~自然と共に生きる~

環境への負荷が少ないまち

エネルギーの自立

重 再生可能エネルギーの率先導入

大学、NPO、企業、研究機関と連携し、再生可能エネルギーの導入促進に取り組むとともに、参加団体のネットワークを構築する。

再生可能エネルギー導入促進会議の開催

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
再生可能エネルギーに関する調査・研究・会議開催		

スマートタウンの整備促進

再生可能エネルギーの導入やエネルギー効率の向上をめざす、スマートタウンの整備を促進する。

スマートタウンの整備を支援

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
スマートタウン整備		

エネルギーパークの整備

戸室リサイクルプラザや西部環境エネルギーセンター、城北水質管理センター等において、太陽光発電や下水道処理設備を活用した再生可能エネルギーに関する体験や見学ができる施設を整備するとともに、これら施設のネットワーク化を図り、次世代エネルギーパークとして発信する。

エネルギーパークの整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
エネルギーパーク整備		

節電エコポイントの導入

登録家庭の電気使用量を前年同期と比較して削減分を「節電エコポイント」として還元する仕組みを構築し、積極的な節電を促すことによって、家庭から温室効果ガス排出量の削減をめざす。

節電エコポイント事業の実施

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	試行・導入	実施・見直し

循環型社会の形成

ごみの減量化の推進と効率的な処理体制の再構築

事業系ごみの減量化をめざし、優良処理業者の育成支援や排出事業者への指導に努めるとともに、ごみ量に応じた効率的なごみ処理体制を再構築する。

優良処理業者の育成支援

ごみ処理体制の再構築

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
検討 済	育成支援等の実施	
調査・研究 済	ごみ処理体制の再構築	

家庭ごみの有料化の検討

古紙業者等との協働により紙ごみの資源化を推進するとともに、ごみのさらなる減量化を図るため、家庭ごみの有料化について検討する。

市民・民間事業者との協働による紙ごみの資源化推進

家庭ごみの有料化の検討

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
試験実施 済	一部実施・区域を拡大し実施	実施

新埋立場の建設と現埋立場跡地の利活用

平成33年度末で埋立完了予定の現埋立場に代わる、新たな廃棄物埋立場を整備する。また、現埋立場の跡地整備計画を策定する。

新埋立場の建設

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
整備		

生ごみリサイクル循環システムの構築

家庭からの生ごみの排出を抑制するための生ごみリサイクル循環システムを構築する。

生ごみリサイクル循環システムの構築

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
システムの確立 済	普及促進	

民間事業者との協働による資源ごみの収集

市内のストア等と協働で、資源ごみの回収拠点場所を設置し、市民が資源ごみを搬出できる場所を確保するとともに、缶やペットボトルなど資源ごみの民間事業者への委託収集を推進する。

資源ごみの収集体制の構築

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
調整 済	検証・実施	

潤いある生活ができるまち

安全で快適な生活環境の保持

雨水貯留・浸透施設等の設置促進

局地的な大雨等に備えるため、雨水浸透施設の設置や雨水貯留施設の設置などを計画的に進める。

雨水貯留・浸透推進アクションプログラムの策定と実施

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
雨水浸透施設・雨水貯留施設の設置		

自然環境の保全

良好な自然環境の保全

絶滅危惧種など野生動植物の種の保存を図るとともに、生物多様性を確保していくため、外来生物対策を強化し、研究機関や市民団体等との連携による生態系の保全を推進する。

希少生物の保全・外来生物対策の強化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
調査・研究 済	実施	

水・緑・人がつながるまちなかの創造

金沢固有の資産である河川、用水、惣構などの水資源と、公園・緑地や街路樹、寺社、民有地の庭などの緑資源について、市民との協働によって、庭園のようなまちづくりを推進し、都市生活の質と価値を高める。

緑あふれる都市づくり事業の推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
緑あふれる都市づくり構想策定 済	実施	

6 くらしづくり ~安心して暮らせる~

災害に強いまち

防災体制の強化

危機管理センターの整備

災害対策本部室や情報管制室など、災害対策活動の拠点となる危機管理センターを整備し、安全・安心に向けた体制の強化を図る。

危機管理センターの整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
危機管理センター整備		

防災拠点広場及び防災備蓄倉庫の整備

災害発生時の支援拠点、非常用物資の供給拠点として、大桑防災拠点広場や泉本町防災拠点施設、城北市民運動公園、安原スポーツ広場等で、防災広場・備蓄倉庫を計画的に整備し、支援力、受援力の強化を図る。

防災拠点広場の整備

防災備蓄倉庫の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
大桑防災拠点広場整備 済 泉本町防災拠点施設整備		
大桑防災備蓄倉庫整備 済		城北市民運動公園防災備蓄倉庫整備

本庁舎施設の耐震化

本庁舎の耐震補強や老朽化した電気設備等の更新などを計画的に実施する。

本庁舎施設の耐震化工事を計画的に実施

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
本庁舎耐震改修工事 済		

都市インフラの耐震化と長寿命化

道路、橋梁、トンネル、公共施設など都市インフラの耐震化や長寿命化に取り組む。

橋梁・トンネル・照明灯の計画的な維持修繕の実施

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
橋梁・トンネル・照明灯の維持修繕		

既存建築物の耐震改修促進

大規模建築物の耐震診断に係る助成拡充に加え、住宅の改修費補助の拡充等によって、既存建築物の耐震化を促進し、安全・安心のまちづくりをめざす。

既存建築物耐震改修促進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
制度改正及び耐震診断率の向上と助成 済	制度拡充、耐震改修の促進	

防災まちづくりの促進

建築物が密集している地域において、住民との協働により、緊急車両の進入道路や避難場所の確保など、防災空間の整備を行う。

防災空間の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
防災まちづくり協定の締結、整備		

水害に対する防災力の強化

激甚化する水害から市民の安全を守るため、計画に基づいた河川の改修と施設の長寿命化に基づく適切な管理を進めるとともに、水防活動実施マニュアルに基づく訓練を実施する等、水害対策を推進する。

水害対策の推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
計画に基づく河川改修、水防活動訓練		

河北潟周辺地域における浸水対策の強化

河北潟に流入している河川の周辺地域における排水機場等の再整備を進める。

河北潟周辺地区浸水対策

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
排水機場調査・二方向受電設備整備等		河北潟周辺浸水対策整備

消防・救急体制の強化

超高齢社会を見据えた救急体制の充実と消防指令センター機能の強化

救急需要などを見極めながら、救急隊を増隊し、体制の強化を図るとともに、消防救急デジタル無線システムを整備し、無線不感地帯の解消や非常災害時の無線通信体制の確立を図るほか、新たな共同運用高機能消防指令システムを構築するなど、消防指令センターの機能を強化する。

救急体制の強化

消防救急デジタル無線システムの整備

新共同運用高機能消防指令システムの構築

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
救急救命士養成・高規格救急車配置		
消防救急デジタル無線システムの整備	済	
	構築	

金石消防署臨港出張所の再整備

石油基地を管轄する消防活動の拠点として、体制を強化するため、老朽化している臨港出張所の移転新築をめざす。

臨港出張所の移転新築

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金石消防署臨港出張所設計・移転整備		

中央消防署小立野出張所の再整備

老朽化している小立野出張所について、消防・救急需要の増加や外環状道路山側幹線の開通などの環境の変化を踏まえ、移転新築をめざす。

小立野出張所の移転新築

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
中央消防署小立野出張所設計・移転整備		

消防団の充実強化

消防団員を確保するための対策や資機材の充実など、地域防災力の強化を図る。

消防団の充実強化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
消防団・消防団員の環境整備		

健やかな暮らしを支えるまち

障害のある人の自立支援

障害のある人の権利擁護と相談支援体制の充実

成年後見制度など障害のある人の権利擁護を推進するとともに、地域における相談支援の中核的な役割を担うための基幹相談支援センターを設置する。

障害のある人の権利擁護に向けた施策の立案・実施 基幹相談支援センターの設置

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
施策の立案・検討・実施		
検討 済	設置	

障害のある方の就労支援と個々の事情に応じた適切なサービスの提供

就労に必要な知識や能力の向上のための訓練・支援を行うとともに、障害のある方の個々の状況を勘案して、障害福祉サービス等の利用計画を策定・実施するなど、地域での自立した生活を支える。

就労移行・就労継続支援サービスの実施 障害福祉サービス等の利用計画の策定・実施

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
就労移行支援・就労継続支援の実施		
障害福祉サービス等の実施		

健康づくりの推進

高齢期における「就労」や「文化・スポーツ活動」など多様な社会参加を通じた健康づくりの推進

高齢者が生きがいを持ち、いきいきと自立した日常生活を送ることができるよう、就労や地域活動、文化・スポーツ活動など多様な機会を通じた社会参加の推進に向けて、活動場所の提供や健康長寿推進の観点での社会環境整備など社会全体で高齢者の健康づくりを支えるしくみを構築する。

地域ぐるみによる自主的な健康づくり活動を支援

地域主体の自主的な健康づくりを推進するため、健康づくりに取り組む団体・グループを育成するとともに、学校の空き教室などを活用し、活動するための場所を提供するほか、優れた活動を紹介し、広く市内全域に展開していく。

健康づくり団体の育成と活動場所の提供

健康づくり活動の紹介

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
健康づくり団体育成、場所提供		
活動紹介・表彰等		

女性の健康に関する包括的支援

働く世代をはじめとする女性の健康づくりを包括的に支援する。

女性の健康に関する包括的支援

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
妊婦・出産・育児期の支援の強化、子宮頸がん・乳がん検診の受診促進		

各種健康診査の受診率の向上と保健指導の強化

がん検診50%、特定健康診査60%達成をめざし、地域や企業に対する受診勧奨を促進するとともに、糖尿病や慢性腎臓病などの生活習慣病の発症・重症化を予防するための個別保健指導を強化することで、健康寿命の延伸を図る。

健康診査の受診促進・保健指導の強化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
健康づくり応援団設立、地域・企業の健康診査受診奨励・表彰、糖や血圧に着目した保健指導等		

ICTを活用した生活習慣病の抑制

スマートフォンやタブレット端末、データ分析ソフトなどを活用し、検診情報や医療情報に基づく個人の状態に応じたきめ細やかな保健指導を実施することにより、生活習慣病の重症化の予防を図る。

ICTを活用した生活習慣病の予防

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
タブレット端末等を活用した保健指導		

1日1万歩ウォーキング運動の展開

スポーツを通じた市民交流と健康増進に向け、新たに金沢ウォークを開催するとともに、これを機に、市民全員が1日1万歩以上歩くことを目標とする各種ウォーキング運動を展開する。

金沢ウォークの開催

ウォーキング教室の継続開催

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
金沢ウォーク開催 済	継続して開催	
ウォーキングマップ作成、ウォーキング教室開催		

食を通じた健康づくりの推進

講演会や講座の開催等により、食の安心・安全の確保を推進するとともに、食と運動、若者の食といった「食と健康」を組み合わせた取組をはじめ、多様な暮らしや年代に応じた食育を推進し、健康づくりにつなげる。

食の安全・安心の確保

食育の取組の実施

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	食の安全・安心の啓発	
食育推進計画（第3次）策定と実施		

保健・医療・福祉拠点の連携・充実

急病センターの移転整備

老朽化が進み、駐車場が手狭な大手町の夜間急病診療所を、駅西福祉健康センター内に移転し、受入機能の拡充と利便性の向上及び初期救急医療体制の充実強化を図る。

急病センターの移転整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
	整備	

南部地区健康プラザの整備

少子・高齢化への対応や介護予防、健康づくりの拠点として、泉野福祉健康センターを多機能複合施設としてリニューアルする。

南部地区健康プラザの整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
南部地区健康プラザ 検討・設計・整備		

金沢らしい地域包括ケアシステムの構築

金沢の地域性を踏まえながら、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する体制を構築するため、金沢市地域包括ケアシステム推進基本構想を策定し、高齢者の日常生活を支援するための施策を展開する。

在宅における医療・介護サービスや住まい等の提供体制の整備

日常生活圏域ニーズ調査や地域ケア会議による課題抽出に基づく介護保険サービスの整備を進めるとともに、担い手の負担軽減や在宅における病態急変時のバックアップ体制の強化等、在宅医療の普及に向けた環境整備を進める。

また、サービス付き高齢者向け住宅等の適正な運営を確保するとともに、空き家等の既存の住宅ストックを活用した新たな高齢者向け住宅の確保に向けた検討を進める。

在宅における医療・介護サービスや住まい等の提供体制の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
医療・介護・住まいに関する体制整備		

在宅における医療・介護連携の推進

在宅医療・介護連携支援センターを設置し、地域の医療・介護関係者等からの相談、連携の調整や紹介、多職種参加の研修などを実施する。また、地域団体及び医療・介護に係る専門職等の重層的なネットワークの構築や、地域包括支援センターの体制強化を図る。

在宅における医療や介護に関わる多職種連携の推進

在宅医療・介護連携支援センターの設立

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
多職種連携研修会実施・地域包括支援センター体制強化		
	在宅医療・介護 連携支援センターの設立	

在宅医療等推進計画の策定と実践

高齢化が進む中、住み慣れた家庭や地域で療養するための在宅医療体制を構築するとともに夜間急病診療所、病院群輪番制など救急医療体制の整備を含めた金沢市在宅医療等推進計画を策定し、実践に努める。

在宅医療等推進計画の策定・実践

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
在宅医療等推進計画の策定・実践		実践

地域の中で認知症の方を支える体制の整備

精神科医や看護師等の専門家により構成される「認知症初期集中支援チーム」の訪問等による早期対応を中心に、「認知症ケアパス」（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）に基づき、認知症の発症初期段階で適切な支援に結びつけるための体制の構築を図る。

地域の中で認知症の方を支える体制の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
認知症ケアパス策定 済	認知症初期集中チーム設置・支援	

高齢者地域安心支え合い体制の構築

これまでの地域福祉の担い手に加え、元気なシニア世代や企業、NPO・学生ボランティアなど多様な担い手による独居高齢者等の見守りやゴミ出し・買い物などの生活支援活動を強化するとともに、専門知識等を有する市民後見人の養成に取り組む。

多様な担い手による支え合い体制の構築

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
地域安心生活支え合い事業 検討・モデル事業の実施 済	地域安心生活支え合い事業の実施地区拡大	

高齢者見守りサービス等の充実強化

一人暮らしの高齢者等に対し、安否確認やご家族へのお知らせ、コールセンターからの定期的な声かけサービスなど、24時間体制の新たな見守りサービスを実施するほか、消防団と連携して戸別訪問を実施し、防火対策の充実強化を図る。

高齢者等見守りサービスシステムの整備

消防団との連携による防火対策の充実強化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
高齢者等見守りサービス検討・試行 済	実施	
	消防団と連携した戸別訪問、防火対策の充実強化	

市立病院の診療機能の強化

新公立病院改革プラン作成に併せ、急性期病院、救急告示病院、災害拠点病院としての機能の充実をめざす。

市立病院の診療機能の強化

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
検討 済	実施	

7 絆づくり ~協働を進める~

地域コミュニティを支えるまち

市民協働の推進

重 市民活動サポートセンターの設置

「まちづくり活動」「文化活動」「絆づくりの活動」等の市民活動を活発化させ、地域、団体の垣根を越えた交流を促進することにより、自立と協働のまちづくりを加速させるとともに、新たに市民活動サポートセンターを設置し、市民団体等の結成・連携の支援を行うなど、市民活動や地域コミュニティの活性化を図る。

市民活動の交流を支援

市民活動サポートセンターの設置

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
地域住民の市民活動の交流を支援		
	市民活動サポートセンター設置	

地域協働コーディネーターの育成とネットワークの形成

コミュニティ活動や市民協働についての知識を有し、地域課題の解決やコミュニティの醸成を図る人材を地域協働コーディネーターとして育成するとともにネットワーク化を進め、コミュニティ活動の活性化に努める。

地域協働コーディネーターの育成

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
地域協働コーディネーター検討 済	育成・運用	

市民との協働によるチャレンジ事業の推進

市民と行政が協働でまちづくりに取り組むことを目的に、市民や団体等から、まちづくりや行政の課題等に対する提案を受け、協働による市政を推進する。

協働のまちづくりチャレンジ事業の実施

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
協働のまちづくりチャレンジ事業見直し・実施		

日本女性会議の誘致・開催

男女共同参画に対する意識の醸成とさらなる女性の活躍を促進するため、市民による平成30年度の日本女性会議開催を支援する。

日本女性会議の誘致・開催

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
日本女性会議誘致 済	開催	

学生の地域活動の促進

学生まちづくり活動の活性化と学生団体の交流促進

「金沢まちづくり学生会議」等と協働し、学生と市民との交流及びまちなかの賑わいの創出など、学生のまちづくり活動の活性化を図るとともに、学生団体相互の交流を促進する。

金沢まちづくり学生会議の事業による交流の促進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
まちなか学生まつり等「金沢まちづくり学生会議」との協働事業実施		
学生による交流活動の発表 済 全国展開を検討	学生団体交流会の開催	見直し・継続

コミュニティ活動への支援

地域コミュニティにおけるICT化の推進

子供からお年寄りまで幅広い世代に情報を発信していくため、地域コミュニティのICT化を推進し、若い世代の町会加入などを促進する。

地域コミュニティICT化推進員の設置・育成

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
制度検討		育成

重 生涯学習施設の再編と市民交流センターの開設

現在の中央公民館長町館を再整備し、生涯学習の拠点となる新たな中央公民館を開設するほか、彦三館を高齢者交流の拠点施設に、また、長土堀交流館を青少年交流の拠点施設にするなど、まちなか旧小学校校舎等の既存のインフラを活用して、青少年、高齢者などを核とした市民の交流拠点を整備する。

長土堀交流館の再整備
中央公民館長町館の再整備
中央公民館彦三館の機能充実

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
長土堀交流館の再整備検討 済	再整備	

生涯現役のしくみづくり

高齢者生きがい就労の促進

シルバー人材センターの機能を拡充し、仕事の受注開拓のための専門員を配置するなど、会員の増強と豊富な経験や高度な知識技能を有する高齢者の就業機会の確保や地域社会への参加を促進する。

高年齢者の就業機会の開拓

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
シルバー人材センター機能強化、シルバーフェスタ充実		

重 「役割」と「居場所」づくりによるいきいきシニア活動の推進

元気な高齢者が、その豊かな知識・経験を生かし、地域の福祉活動やボランティア活動等へ積極的に参画することで、自らの「役割」や「居場所」が実感できるよう、動機付けのための仕組みを構築し、健康でいきいきと生活できる環境づくりを推進する。

介護支援ボランティア制度導入に向けた検討

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
介護支援ボランティア制度の導入に向けた検討		

地方の自立をめざすまち

行政サービスの充実

市役所庁舎前広場の改修

駐車機能の拡充やイベント広場としてのさらなる活用を図るため、庁舎前広場の改修に取り組む。

庁舎前広場の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
庁舎前広場活用方策検討・設計・整備		

南分室の建替と市役所周辺施設の再編

老朽化が進む南分室の建替に併せ、東分室、広坂分室等の本庁舎周辺施設の再編を図り、機能集約を進める。

本庁舎周辺施設の再編整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
本庁舎周辺施設再編検討 済	設計・整備	整備

金沢市公文書館の整備

保存期間の終了した公文書で歴史的価値のあるものを適正に選別・保存し、市民に公開していくための公文書館を設置する。

金沢市公文書館の整備

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
公文書選別・収集・公文書館の場所選定・設計・整備		

行財政改革の推進

外郭団体や行政委員会委員の報酬、市長の退職金の見直しに取り組むとともに、経済・財政状況や国の税制改正の動向等を見極めながら、本市の税のあり方等について検討を進める。

行財政改革の推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
行政改革大綱及び行財政改革実施計画の実践		

オープンガバメントの構築

情報通信技術を活用し、市政情報を可能な限り市民に提供することにより、自分たちの手で必要な事業を展開することができるよう金沢版のオープンガバメントを構築する。

オープンガバメントの構築

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
オープンデータの推進 実験的な公共サービス支援等 済	オープンデータの範囲拡大 民間による公共サービス支援等	オープンデータの充実等

電子自治体の推進

市民へのより一層のサービスの向上と行政事務の効率化を実現するため、各種申請・届出の電子化等を推進する。

電子自治体の推進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
社会保障・税番号制度対応 済	プッシュ型情報発信 ワンストップオンライン申請開始	ノンストップサービス検討 官民共通ワンストップ窓口検討
次期基幹情報システム構築・運用		

世界の交流拠点都市金沢 重点戦略計画（平成25年度～平成34年度）

平成26年 2月 策定

平成28年 2月 改定

金沢市都市政策局企画調整課

TEL：076-220-2031
